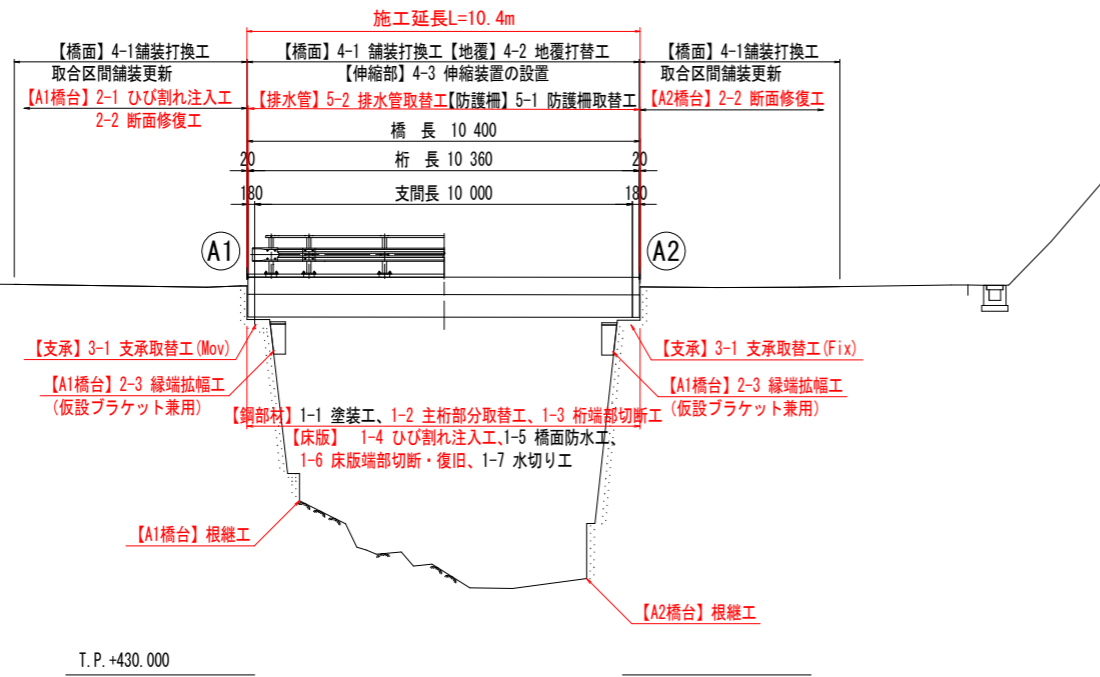
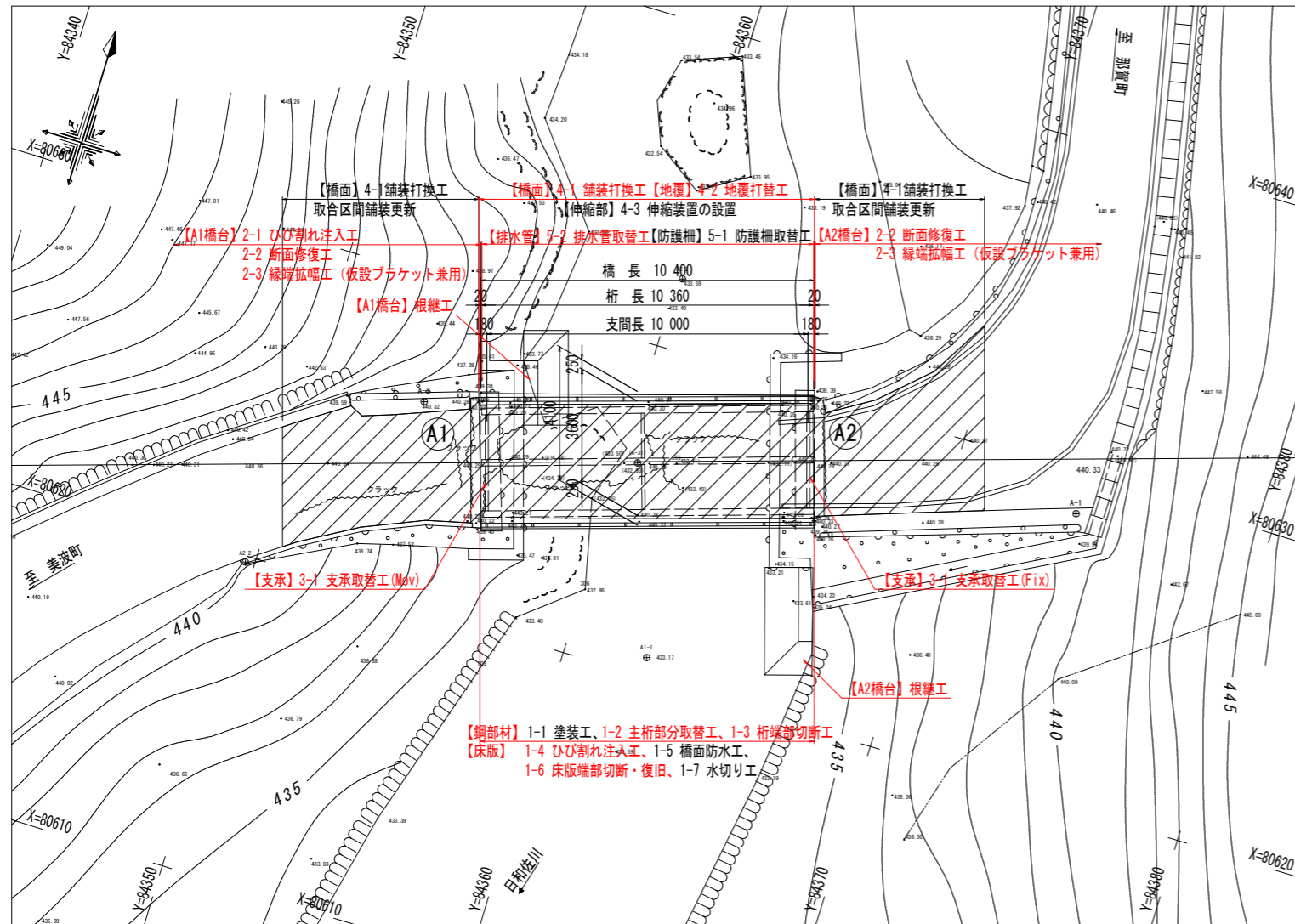


補修補強計画一般図

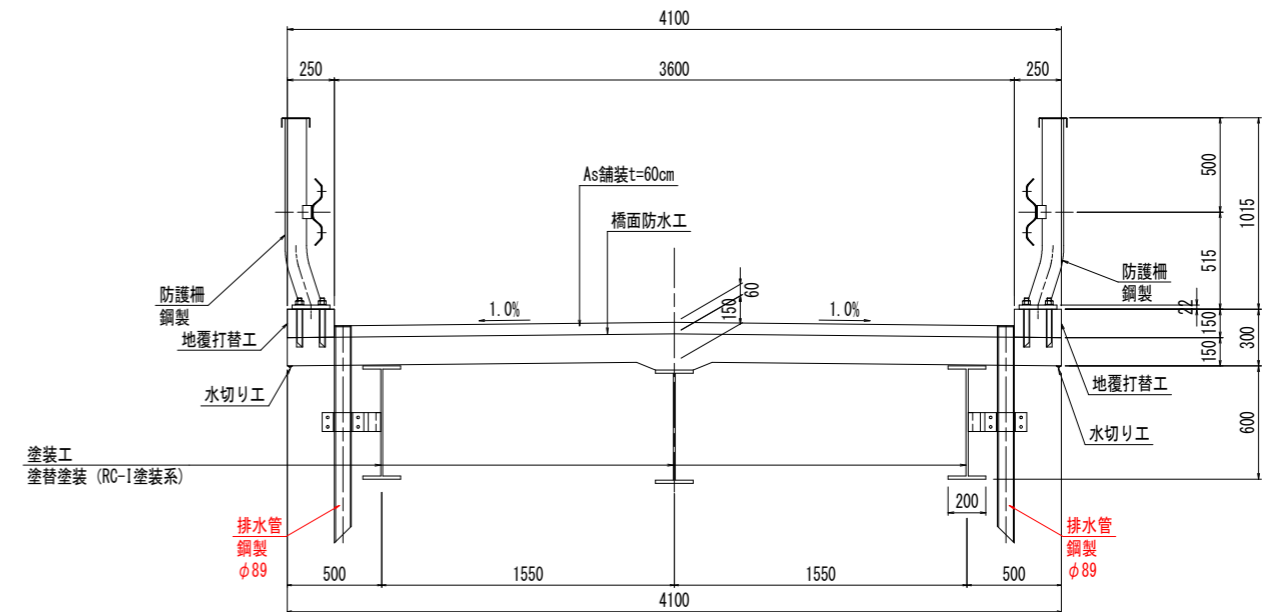
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



断面図 S=1:20



大越7号橋 補修計画一覧表

部材区分	補修方法	材料等	
1. 上部工	鋼部材	<ul style="list-style-type: none"> 1-1 塗装工 1-2 主桁部分取替工 1-3 桁端部切断工 	<ul style="list-style-type: none"> 塗替塗装 (RC-I 塗装系) 鋼部材 ガス切断
	床版	<ul style="list-style-type: none"> 1-4 ひび割れ注入工 1-5 橋面防水工 1-6 床版端部切断・復旧 1-7 水切り工 	<ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂系 シート系 構造物取壊し・復旧 軟質PVC製水切り
2. 下部工	A1橋台・A2橋台	<ul style="list-style-type: none"> 2-1 ひび割れ注入工 (A1橋台のみ) 2-2 断面修復工 2-3 縁端拡幅工 (仮設ブラケット兼用) 2-4 根継工 	<ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂系 ポリマーセメントモルタル RC構造 根継工
3. 支承部	支承	<ul style="list-style-type: none"> 3-1 支承取替工 	<ul style="list-style-type: none"> 固定・可動支承
4. 橋面	舗装・取合舗装	<ul style="list-style-type: none"> 4-1 舗装打換工 (区画線復旧) 	<ul style="list-style-type: none"> 再生密粒度As混合物
	地覆	<ul style="list-style-type: none"> 4-2 地覆打替工 	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート
	伸縮部	<ul style="list-style-type: none"> 4-3 伸縮装置の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 表面鋼製ゴムジョイント
5. 付属物	防護柵	<ul style="list-style-type: none"> 5-1 防護柵取替工 	<ul style="list-style-type: none"> 鋼製
	排水管	<ul style="list-style-type: none"> 5-2 排水管取替工 	<ul style="list-style-type: none"> 鋼製

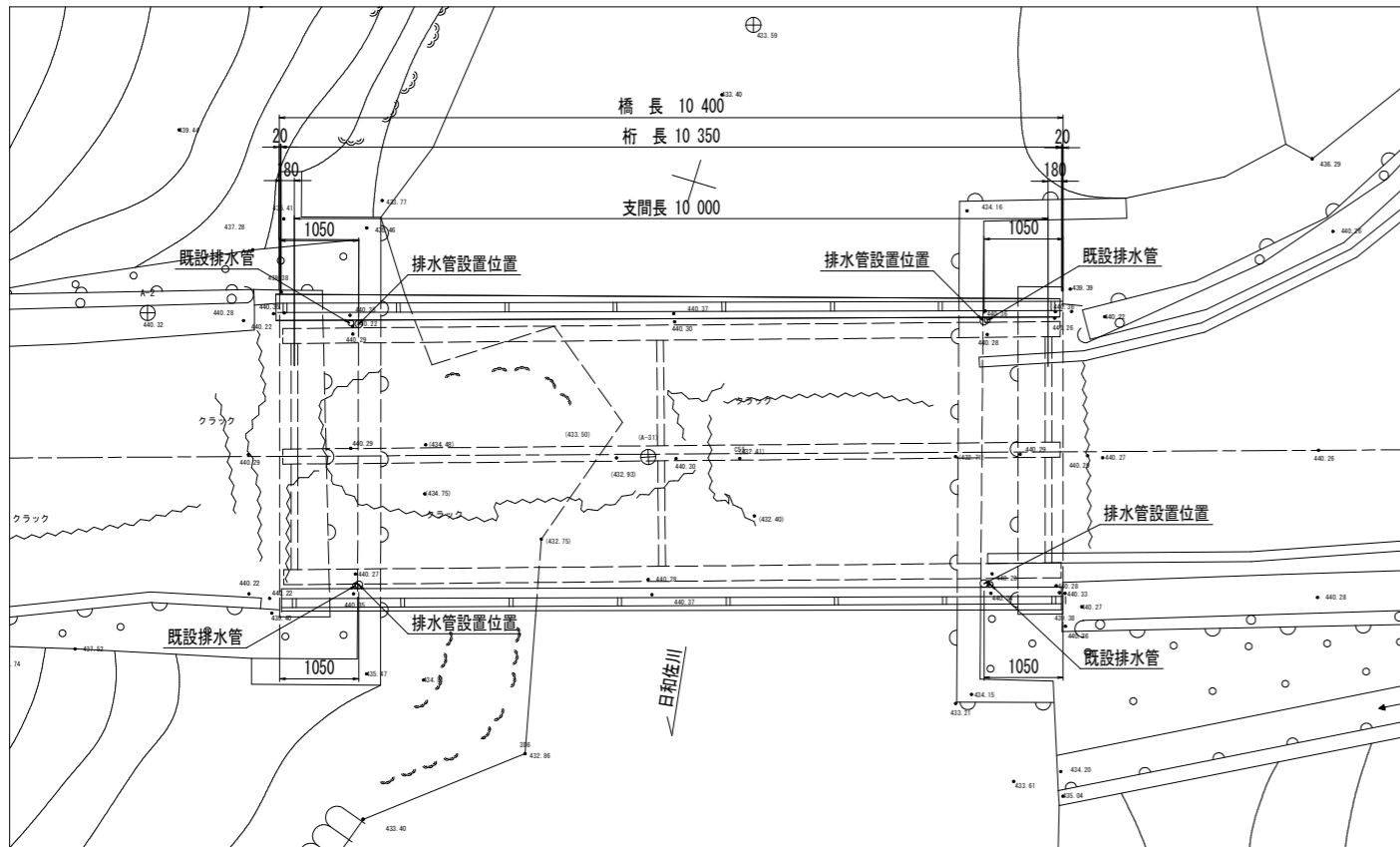
橋梁諸元	
橋の等級	2等橋
架設年度	1968年 (昭和43年, 供用年数52年)
橋長	10.400m
幅員	4.100m
橋種	鋼道路橋
橋梁形式	上部構造 非合成鉄桁橋
	下部構造 橋台 重力式 直接基礎
適用示方書	鋼道路橋設計示方書, 鋼道路橋製作示方書 (昭和39年)

実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線 (大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事
路線名等	(主) 日和佐上那賀線
工事箇所	海部郡美波町山河内 (大越7号橋)
図面名	補修補強計画一般図
縮尺	図示 図面番号 1 / 14
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

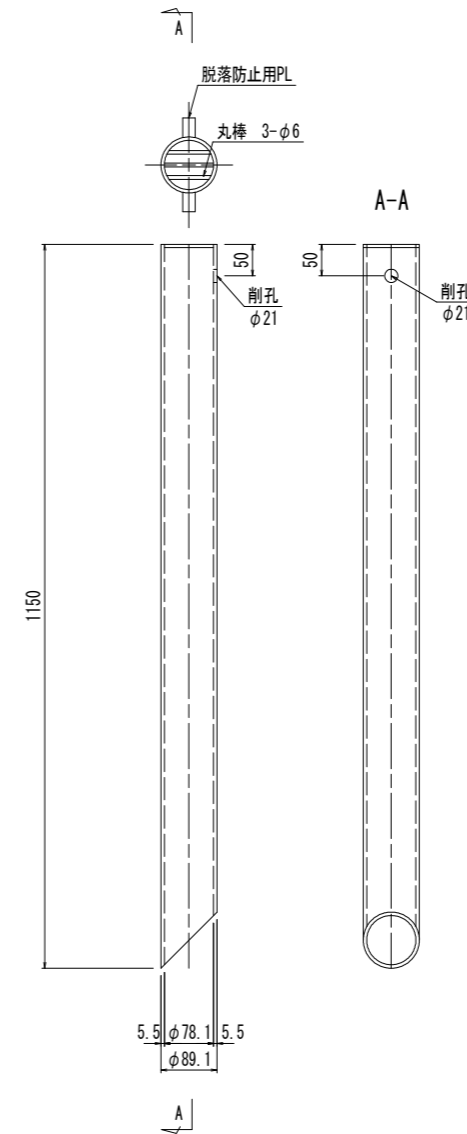
排水管補修計画図

平面図 S=1:50

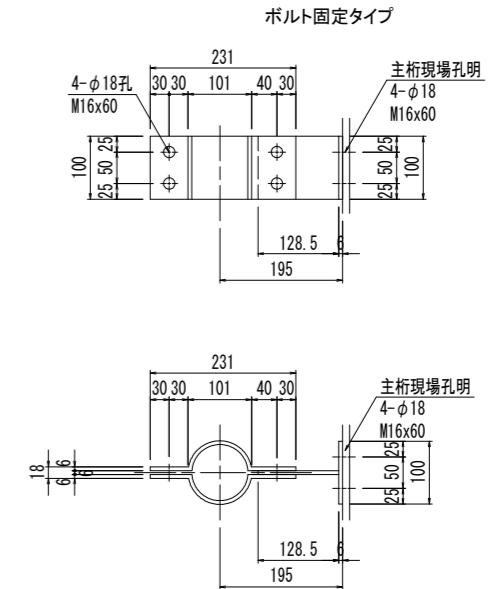


註) ・排水管設置位置は縁端幅から橋軸方向に離隔を確保すること。
 ・排水管設置位置は床版の鉄筋探査後再度検討すること。

排水管詳細図 S=1:6

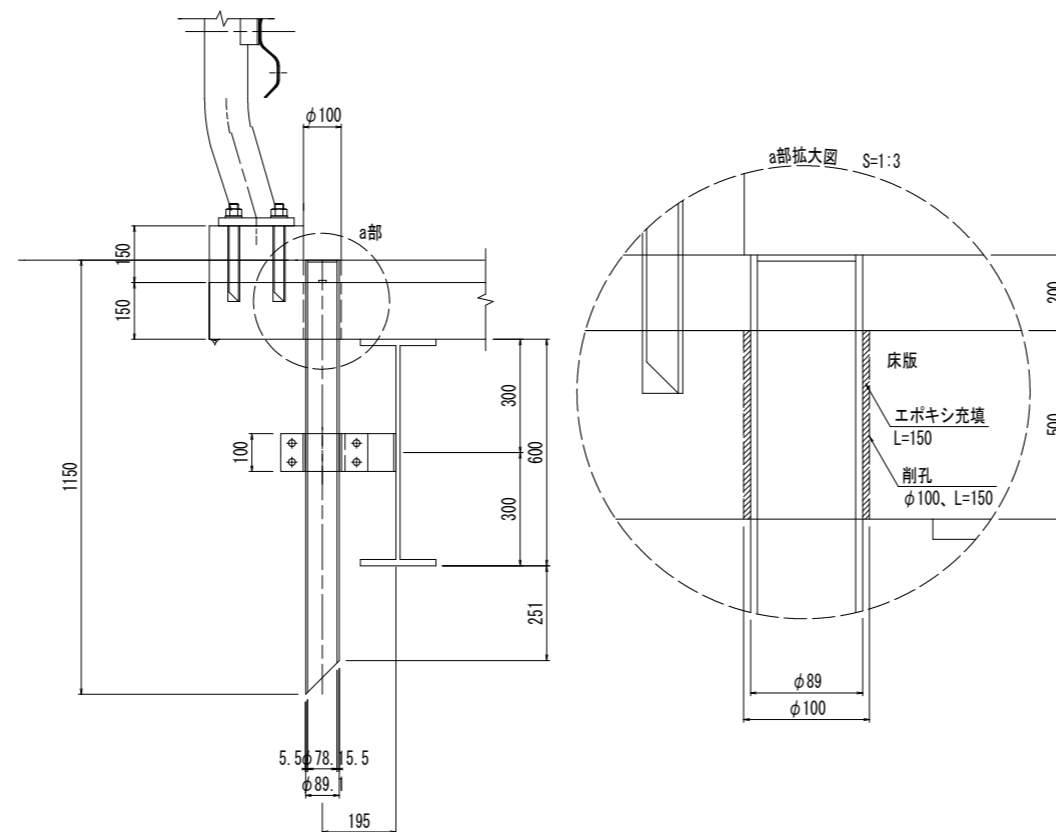


取付金具詳細図 S=1:6

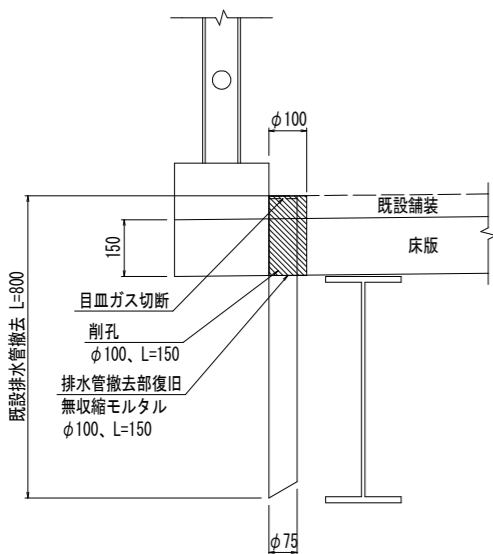


- 排水管補修1箇所あたり
- 2-PL 6×100×251 (SS400・垂鉛めっき)
 - 1-PL 6×100×100 (SS400・垂鉛めっき)
 - 1-PL 6×100×128.5 (SS400・垂鉛めっき)
 - 8-B, U-nut (2-W付) M16×60 (SS400相当品・垂鉛めっき)

排水管設置要領図



既設排水管撤去要領図 S=1:10



実施設計図面

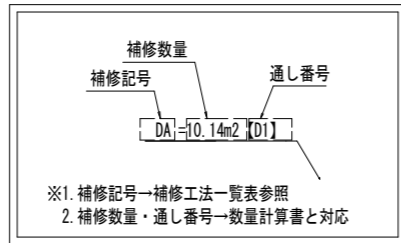
工事名	R4波土 日和佐上那賀線 (大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内 (大越7号橋)		
図面名	排水管補修計画図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

註) ・床版削孔前には鉄筋探査を行い、既設鉄筋を切断しないよう注意すること。
 ・現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

補修工法一覧表

補修工法	記号：単位	通し番号 【記号No.】
ひび割れ注入工 (土木補修用エポキシ樹脂系)	HI 1: 1.80 m	Ca
断面修復工：鉄筋露出無し	DA 1: 0.04 m ²	Da

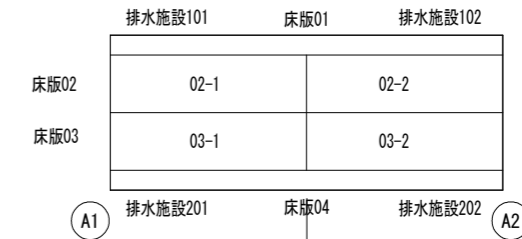
・【 】は計画箇所補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)



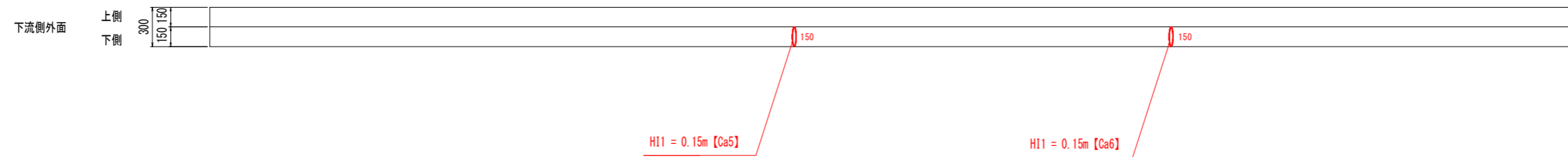
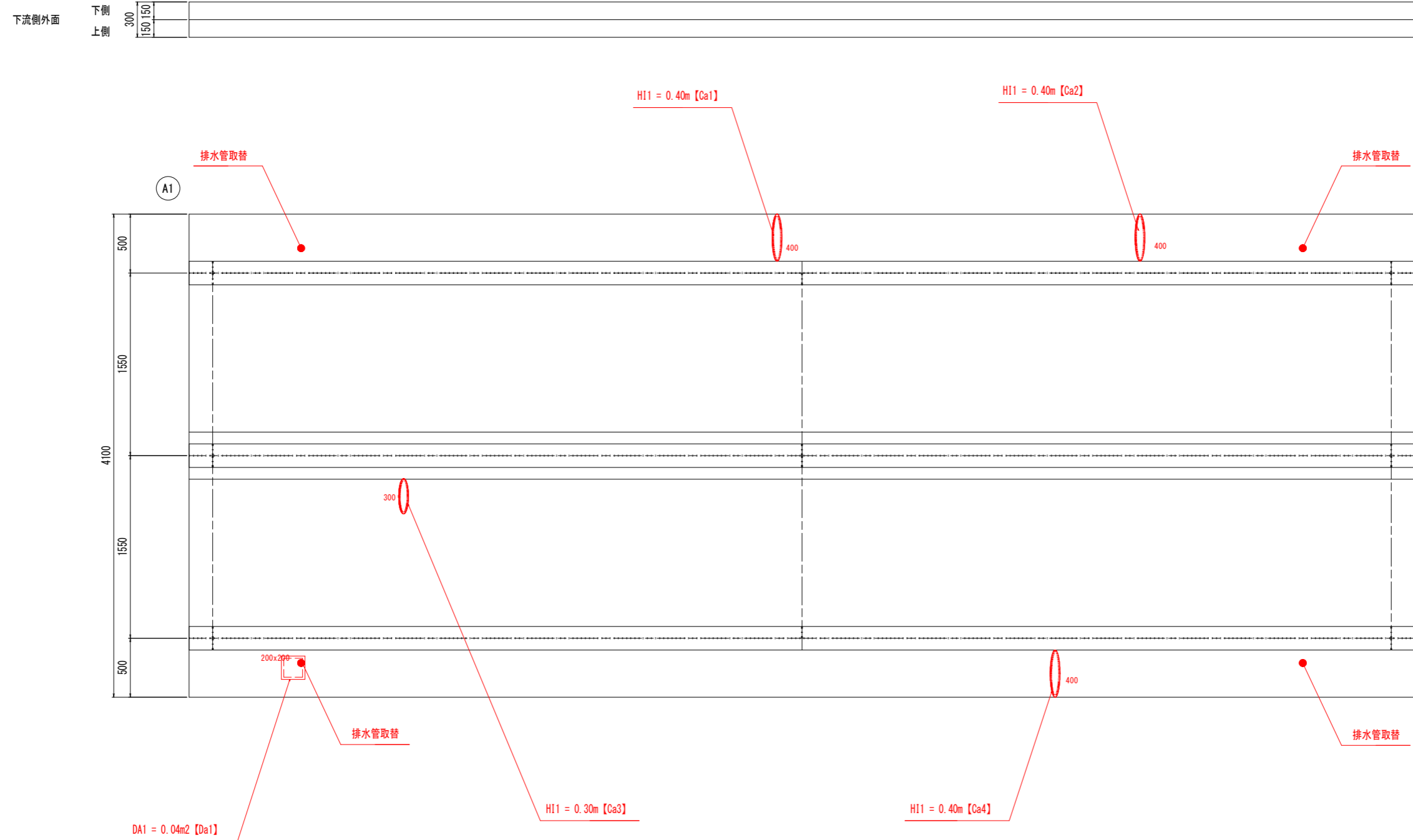
床版下面補修計画図

S=1:20

配置図



損傷凡例		
ひびわれ	0.2mm未満	——
	0.2~0.5mm未満	——
	0.5~1.0mm未満	——
	1.0mm以上	——
腐食(角)	——	
鉄筋露出		
遊離石灰	□□□□	
漏水・帯水	////	
うき	////	
剥離	□□□□	
変形・欠損	□□□□	
腐食	□□□□	
その他	□□□□	



注記

1. 遊離石灰析出箇所のひび割れ幅は0.2mmと仮定する。

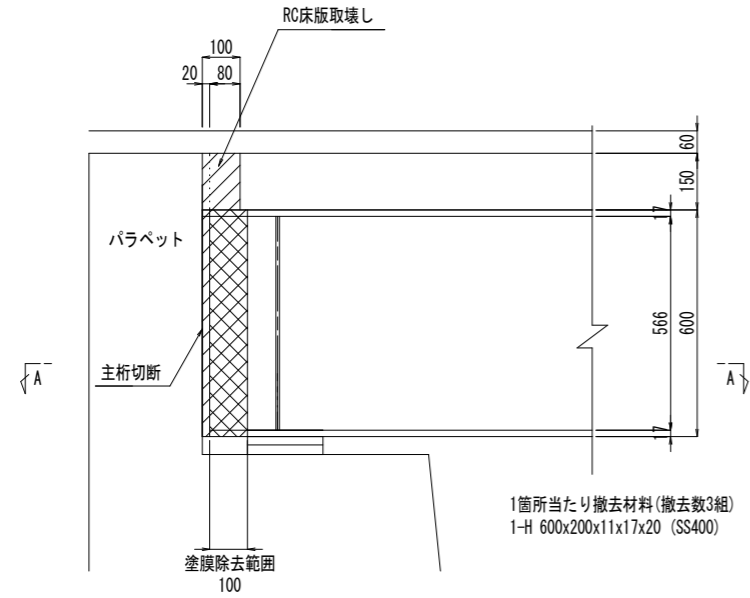
実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線(大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事
路線名等	(主) 日和佐上那賀線
工事箇所	海部郡美波町山河内(大越7号橋)
図面名	床版下面補修計画図
縮尺	S=1:20 図面番号 3 / 14
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

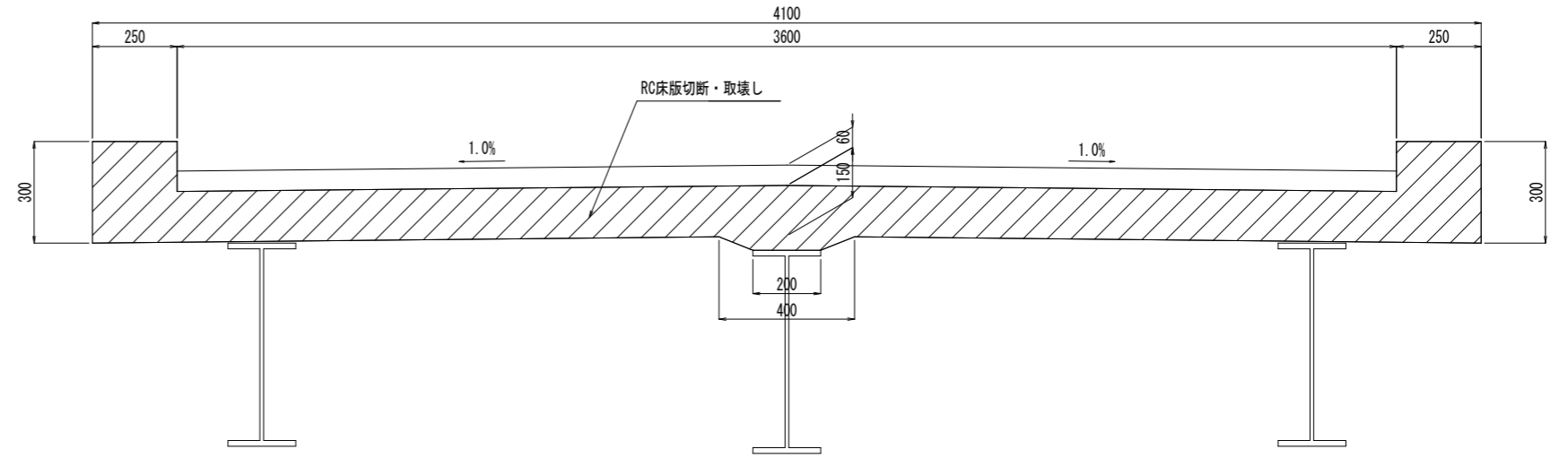
桁端部補修計画図

S=1:10

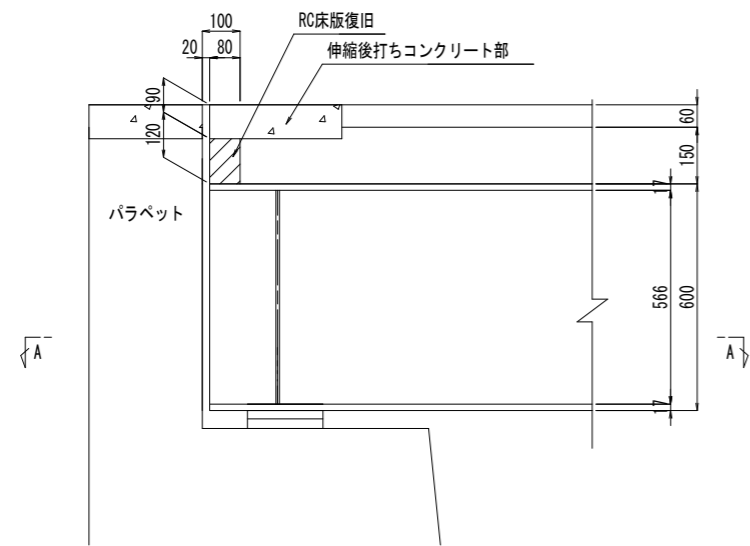
側面図(撤去図)



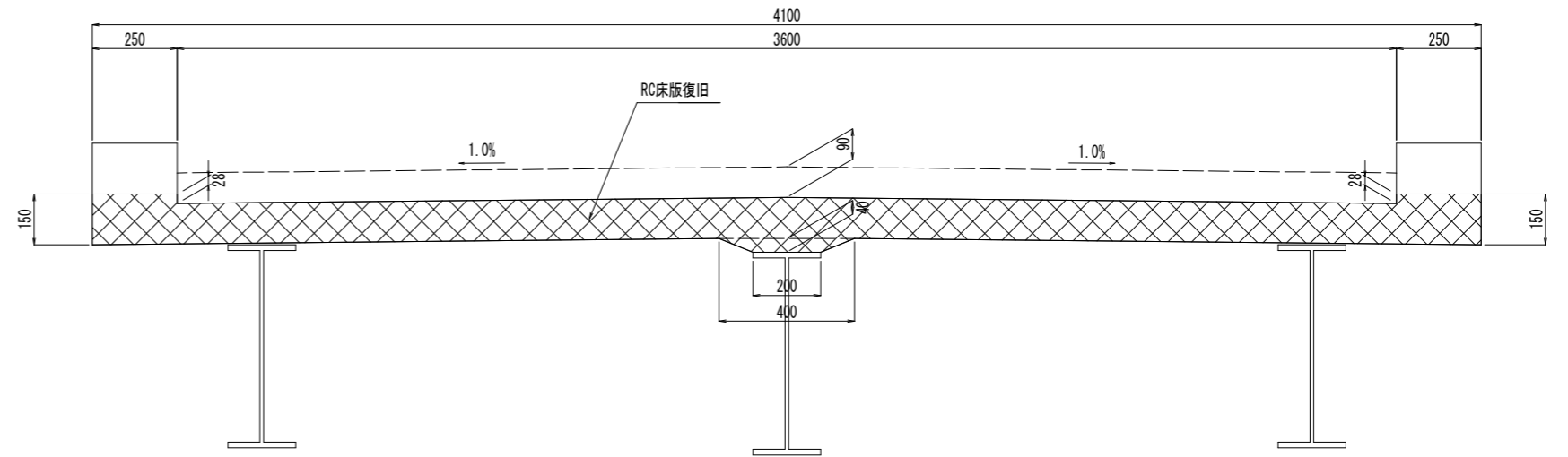
正面図(撤去図)



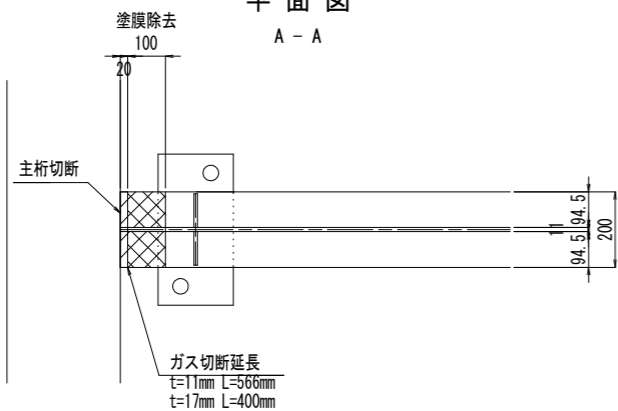
側面図(復旧図)



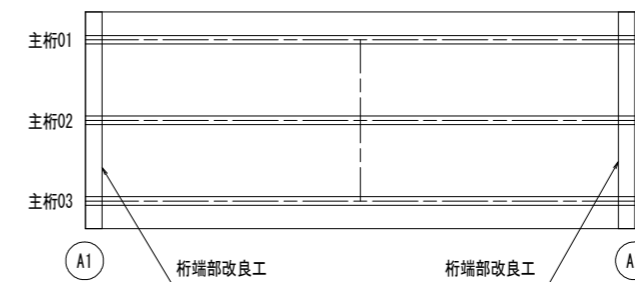
正面図(復旧図)



平面図



配置図



- 註) ・現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 ・RC床版端部取壊しの際は、既設鉄筋の切断を避け、鉄筋のかぶり厚(30mm)を確保すること。復旧の際は、既設鉄筋の防錆処理を行うこと。
 ・床版コンクリート復旧時に用いる型枠は必ず撤去すること。
 ・主桁切断の際は、切断位置から100mmの範囲で剥離剤による塗膜除去を行うこと。切断面および塗膜除去箇所は防錆処理を施すこと。

実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線(大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事
路線名等	(主) 日和佐上那賀線
工事箇所	海部郡美波町山河内(大越7号橋)
図面名	桁端部補修計画図
縮尺	S=1:10 図面番号 4 / 14
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

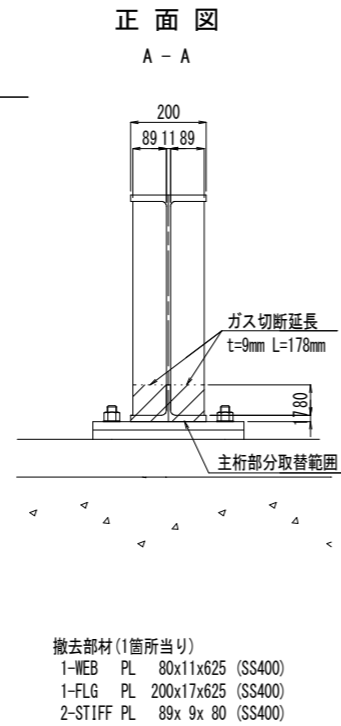
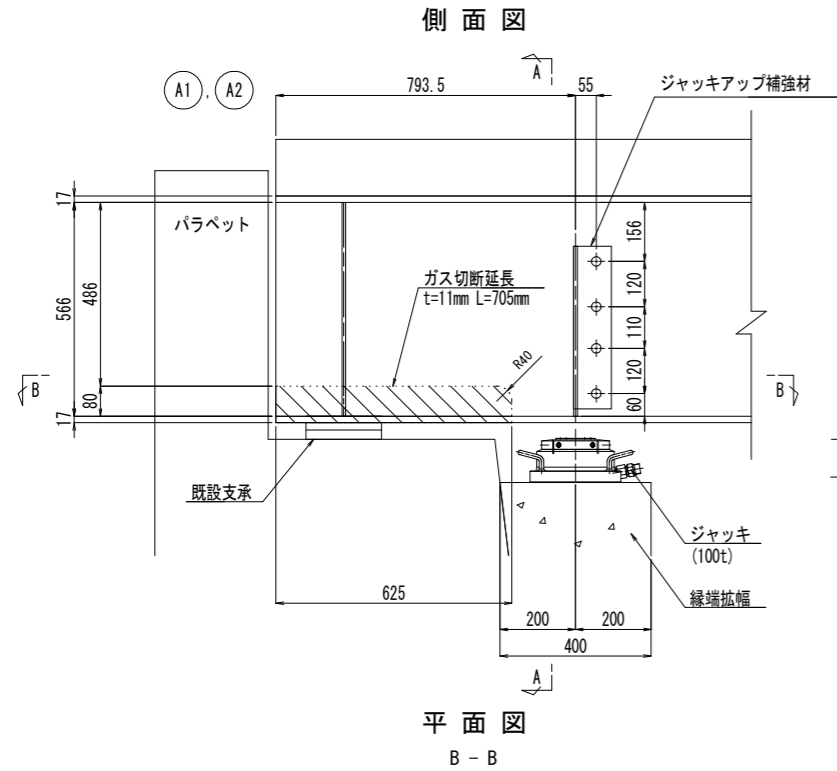
主桁端部当て板補修詳細図(その1)

S=1:10

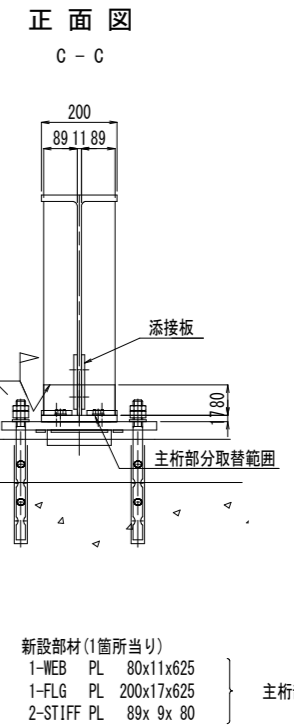
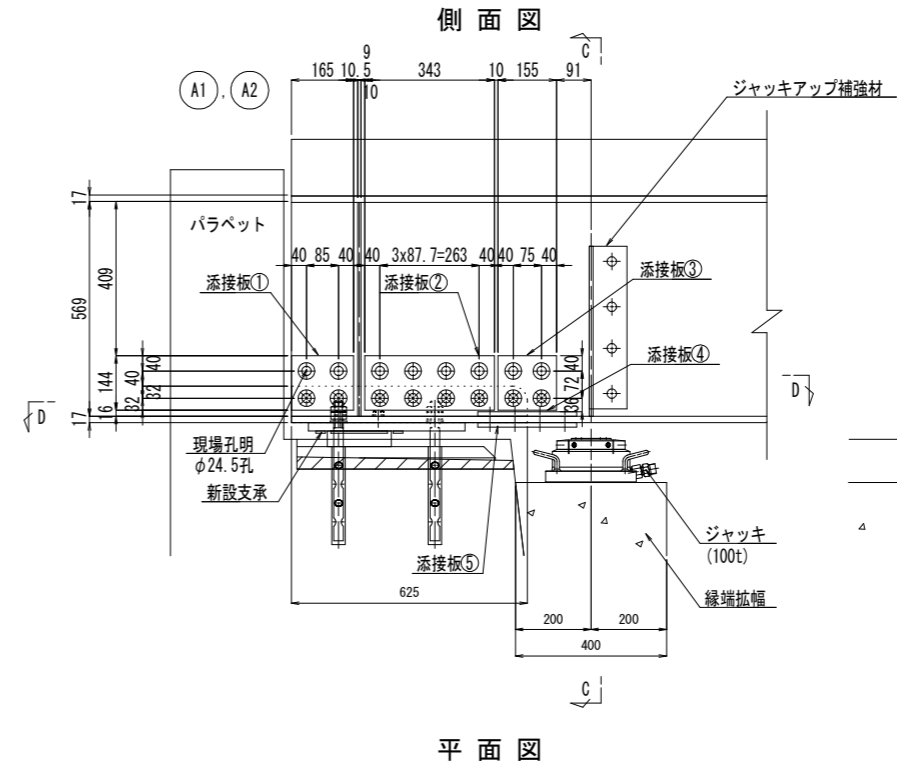
A1橋台, A2橋台

主桁端部当て板補修

主桁部分切断

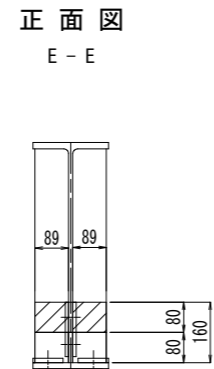
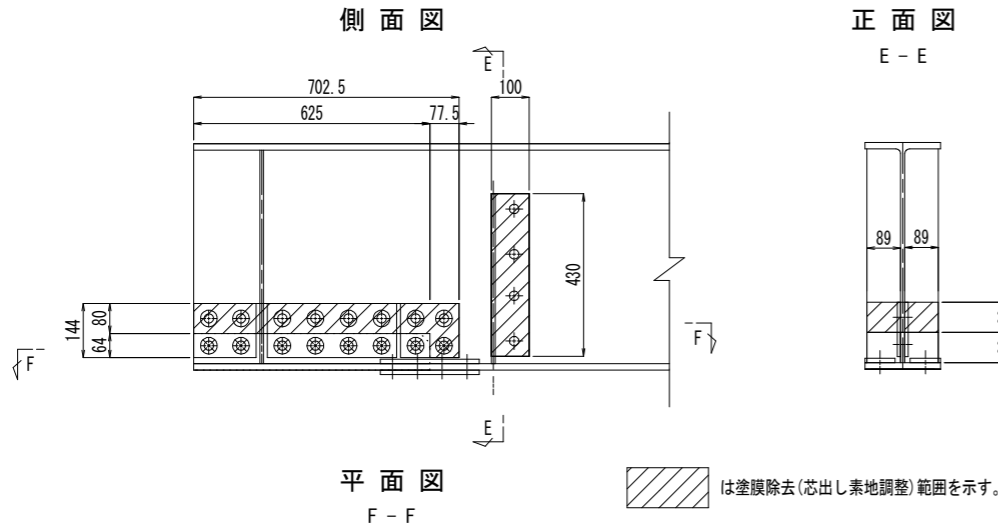


- 撤去部材 (1箇所当り)
- 1-WEB PL 80x11x625 (SS400)
 - 1-FLG PL 200x17x625 (SS400)
 - 2-STIFF PL 89x 9x 80 (SS400)



- 新設部材 (1箇所当り)
- 1-WEB PL 80x11x625
 - 1-FLG PL 200x17x625
 - 2-STIFF PL 89x 9x 80
 - 2-SPL PL 144x 9x165 (SS400) 添接板①
 - 2-SPL PL 144x 9x343 (SS400) 添接板②
 - 2-SPL PL 144x 9x155 (SS400) 添接板③
 - 2-SPL PL 80x12x262 (SS400) 添接板④
 - 1-SPL PL 200x12x262 (SS400) 添接板⑤
 - 8-TCB M22 x 65 (S10T)
 - 8-HTB M22 x 70 (F10T)
 - 8-HTB M22 x 85 (F10T)
- 主桁部分取替

塗膜除去範囲

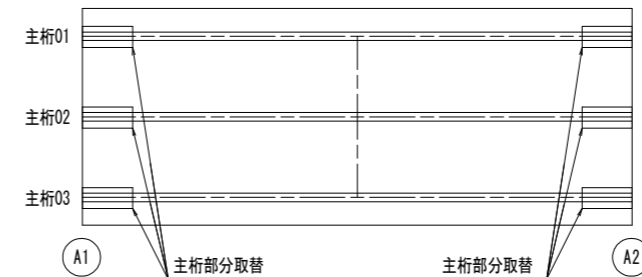


は塗膜除去(芯出し素地調整)範囲を示す。

- 註)
- ・現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 - ・特記なき鋼材の材質はSM400Aとする。
 - ・⊙は現場孔明け箇所を示す。
 - ・⊗はTCB(S10T)を示し、⊕はHTB(F10T)を示す。
 - ・主桁切断の際は、添接板位置から50mmの範囲で剥離剤による塗膜除去および2種ケレンを行うこと。
 - ・塗替塗装工と施工時期が異なる場合は塗膜除去箇所および取付部材は防錆処理を施すこと。

実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線 (大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内 (大越7号橋)		
図面名	主桁端部当て板補修詳細図(その1)		
縮尺	S=1:10	図面番号	5 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

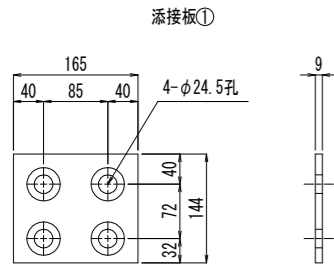


主桁端部当て板補修詳細図(その2)

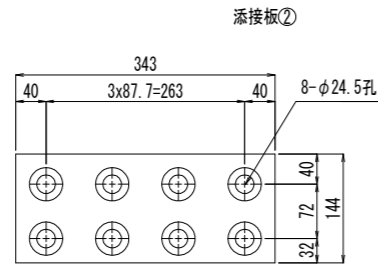
S=1:5

新設部材詳細

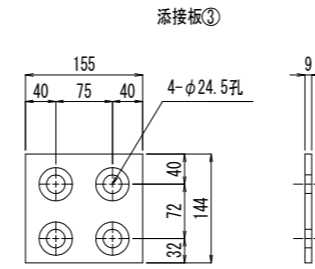
添接板詳細図



1支線当たり(製作数:3組)
2-SPL PL 144x9x165 (SS400)

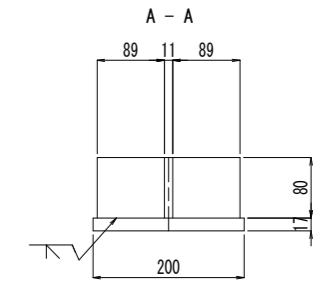
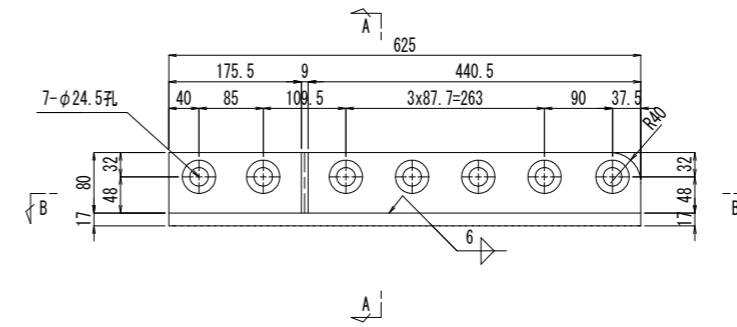


1支線当たり(製作数:3組)
2-SPL PL 144x9x343 (SS400)

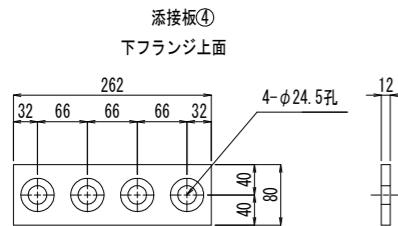


1支線当たり(製作数:3組)
2-SPL PL 144x9x155 (SS400)

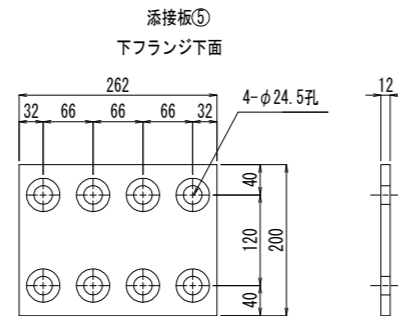
取替主桁詳細図



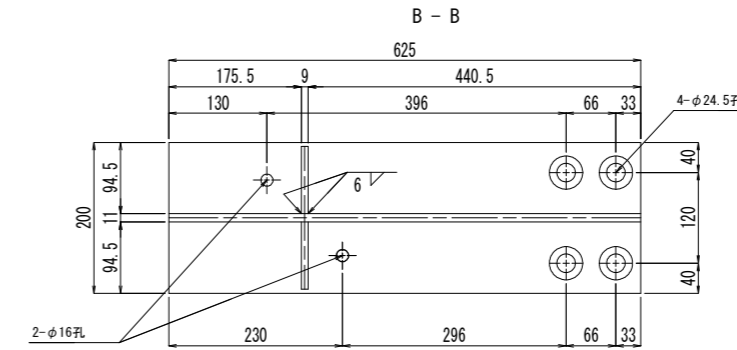
1支線当たり(製作数:3組)
1-WEB PL 80x11x625
1-FLG PL 200x17x625
2-STIFF PL 89x 9x 80



1支線当たり(製作数:3組)
2-SPL PL 80x12x262 (SS400)

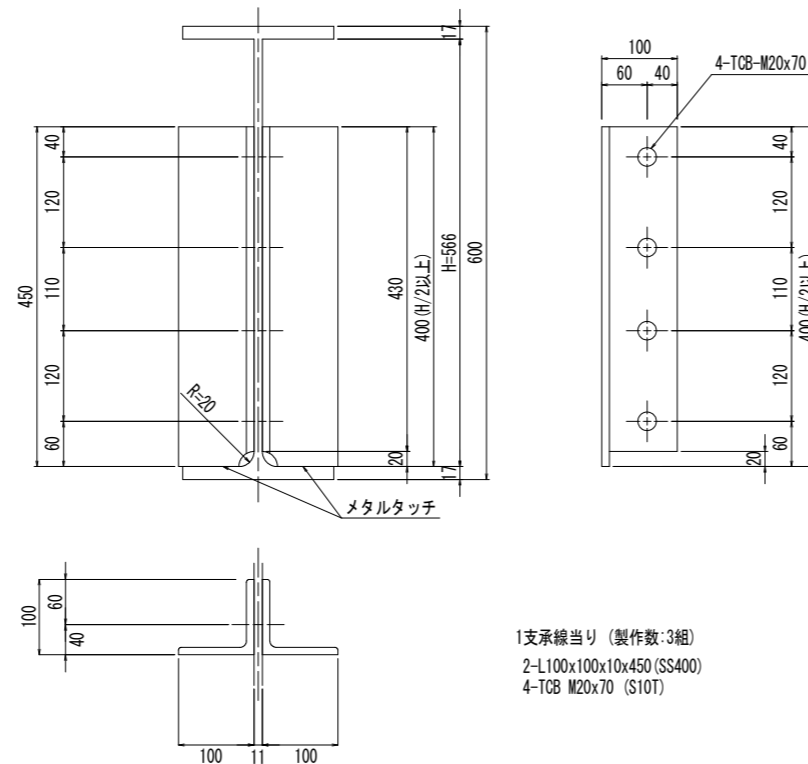


1支線当たり(製作数:3組)
1-SPL PL 200x12x262 (SS400)



ジャッキアップ補強材 S=1:5

L-100x100x10x450



1支線当たり(製作数:3組)
2-L100x100x10x450 (SS400)
4-TCB M20x70 (S10T)

註) ・現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
・特記なき鋼材の材質はSM400Aとする。

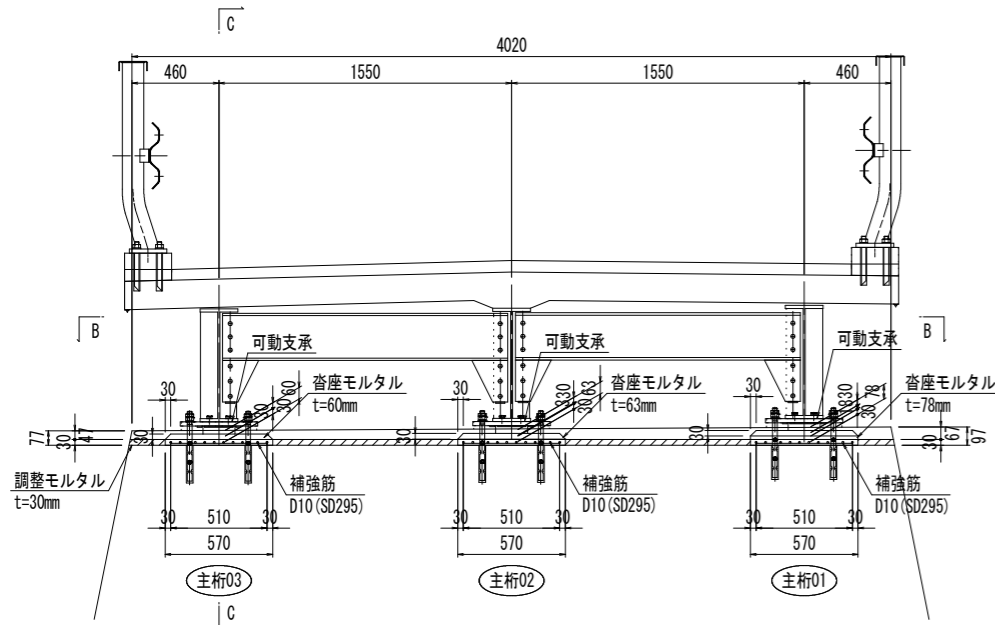
実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線(大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内(大越7号橋)		
図面名	主桁端部当て板補修詳細図(その2)		
縮尺	S=1:5	図面番号	6 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

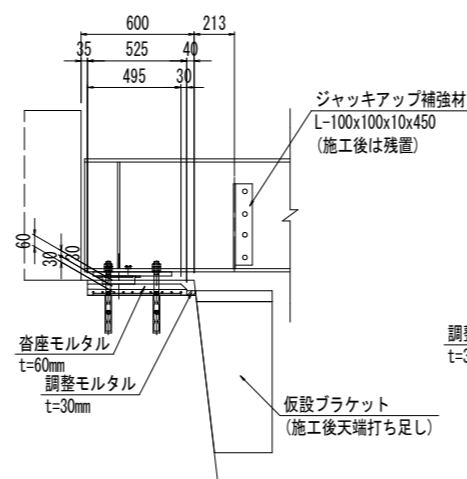
支承取替計画図 (その1)

【A1橋台 (Mov)】

断面図 (A-A) S=1:20

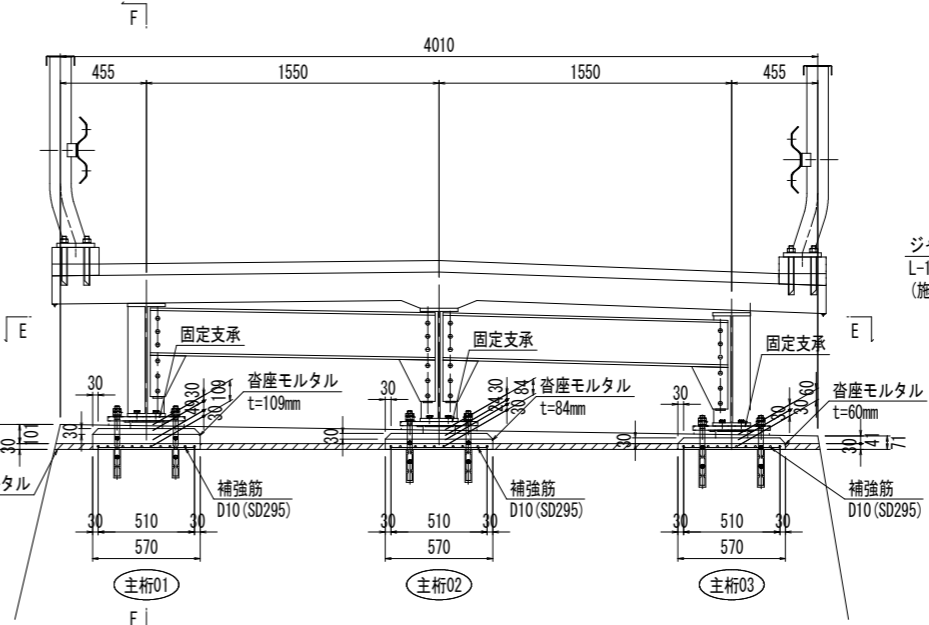


側面図 (C-C) S=1:20

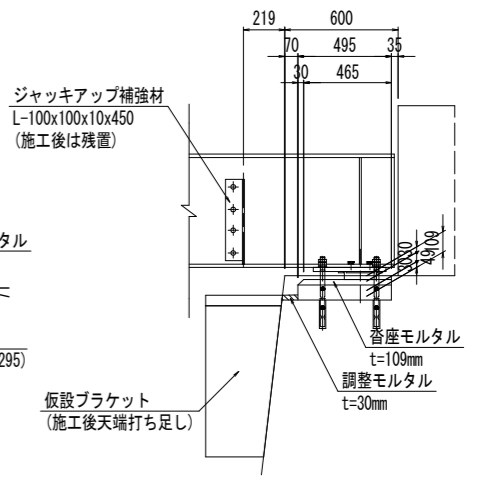


【A2橋台 (Fix)】

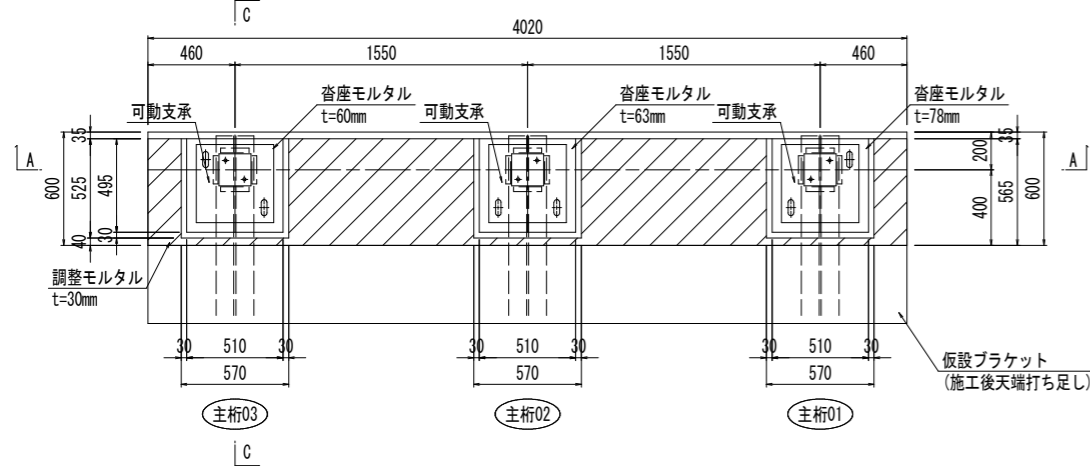
断面図 (D-D) S=1:20



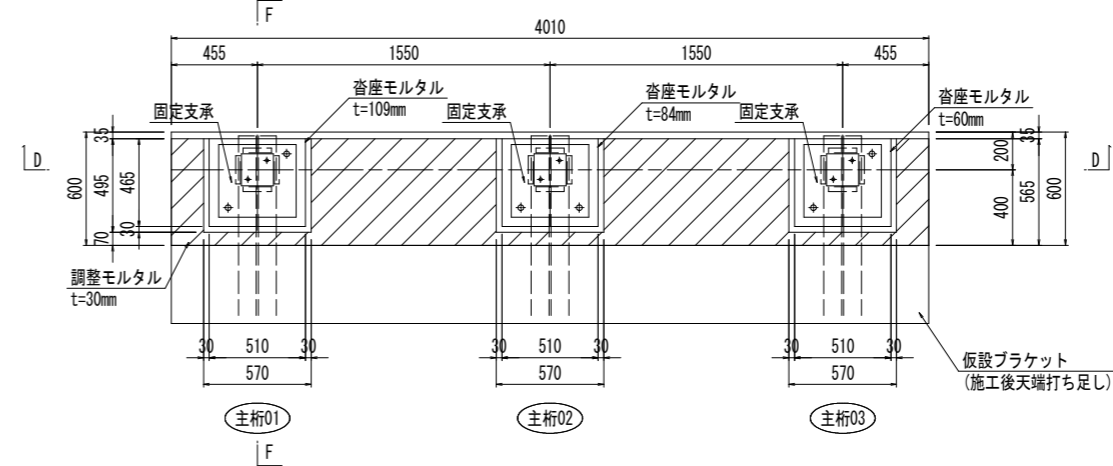
側面図 (F-F) S=1:20



平面図 (B-B) S=1:20

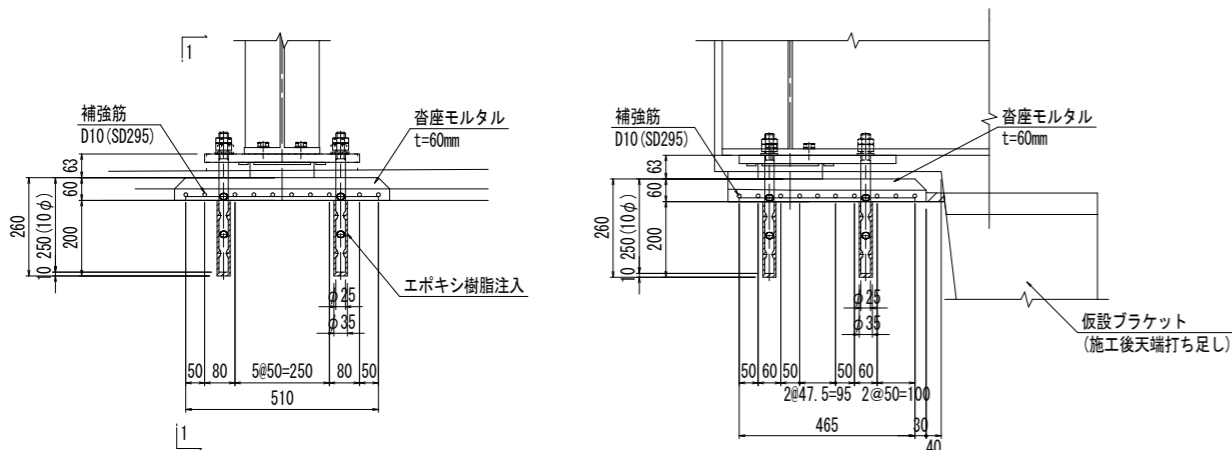


平面図 (E-E) S=1:20



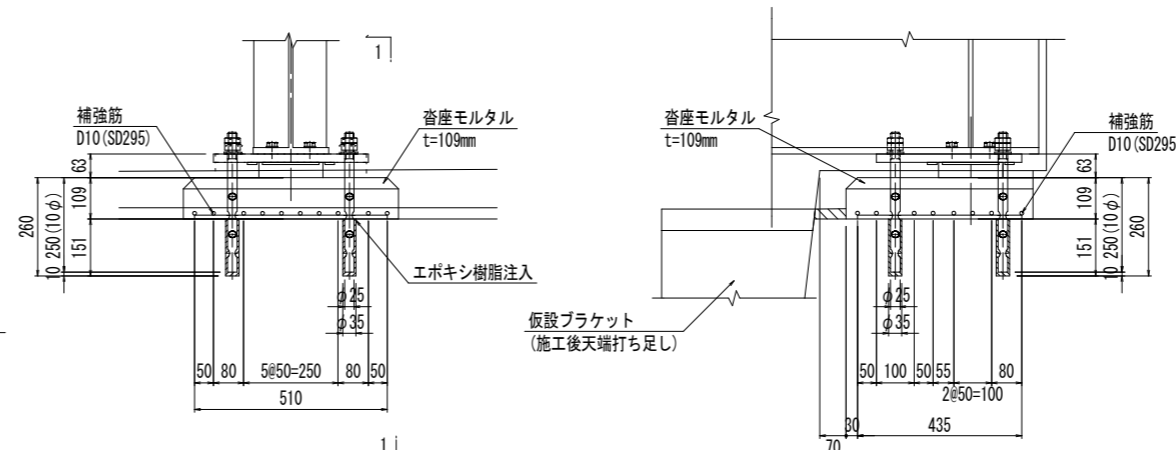
沓座詳細図 S=1:10

【A1橋台 (Mov)】



沓座詳細図 S=1:10

【A2橋台 (Fix)】



鉄筋表

径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要	材質
D10	510	54	0.560	0.286	15	—	SD295
"	465	30	"	0.260	8	—	"
"	435	30	"	0.244	7	—	"
					Σ=	30	Kg

【留意事項】

調整モルタル打設時に排水勾配 (1.0%程度) を設けること

実施設計図面

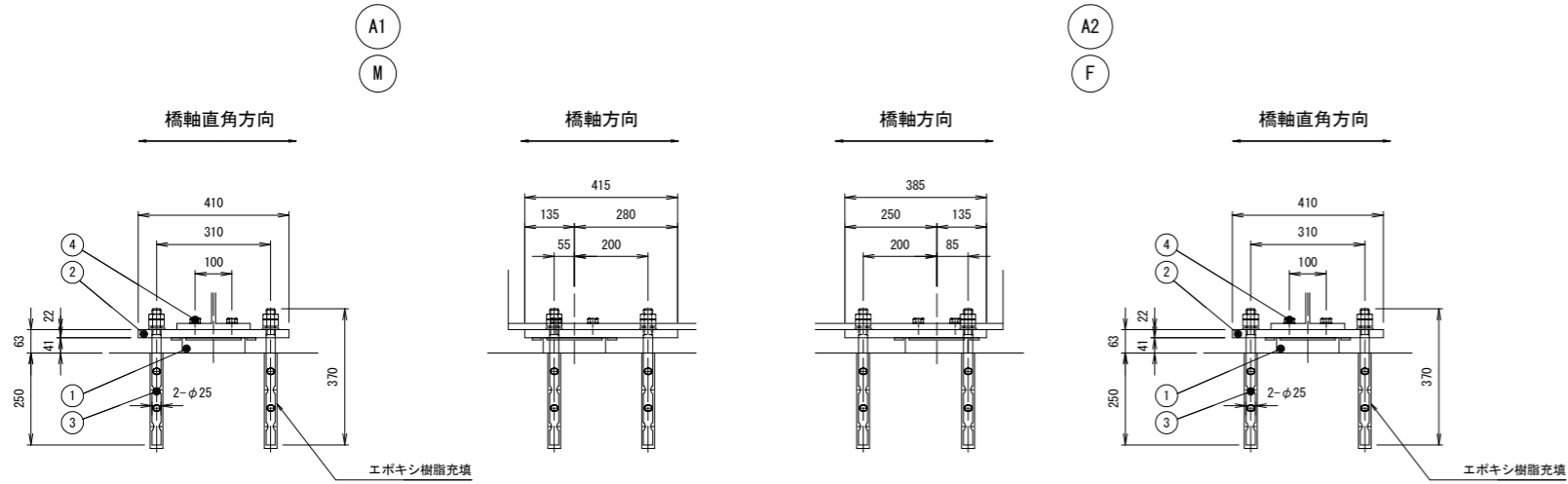
工事名	R4波土 日和佐上那賀線 (大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内 (大越7号橋)		
図面名	支承取替計画図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

沓座モルタル厚 (mm)	A1橋台		
	主桁01	主桁02	主桁03
	78	63	60

沓座モルタル厚 (mm)	A2橋台		
	主桁01	主桁02	主桁03
	109	84	60

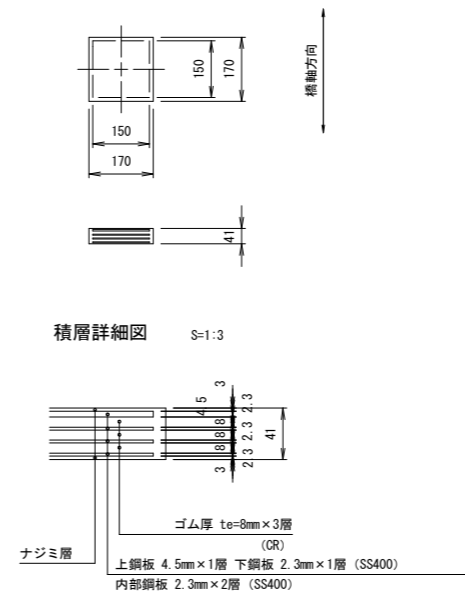
支承取替計画図 (その2)

組立図



※ アンカーボルト位置及びソールプレート形状は現地調査後決定のこと。

① ゴム支承 (CR+SS400) S=1:10



設計条件

支 承 条 件		Mov		Fix		
最大反力	Rmax	120	KN	120	KN	
最大反力 回転照査用	Rmax2	110	KN	110	KN	
最大死荷重反力	R _D	40	KN	40	KN	
最大活荷重反力	R _{L-t}	80	KN	80	KN	
照査荷重時変位量 (RL+1/2)	δ _{cl}	0.36	mm	0.36	mm	
回転変位量	δ _r	0.50	mm	0.50	mm	
水平変位量	橋軸方向	ΔL1	11.3	mm	0.0	mm
	橋軸方向	ΔLe1	—	mm	—	mm
	橋軸直角方向	ΔLe2	—	mm	—	mm

材 料 表 (1基あたり)

名 称	材 質	個 数	数 量 (kg)		備 考
			A1-M	A2-F	
1 ゴム支承	CR+SS400	1	3.8	3.8	Ge=0.8N/mm ²
2 ソールプレート	SM490A+SS400	1	30.2	28.1	
3 アンカーボルト・ナット	S35CN	2	3.3	3.3	ナット・産金含む
4 セットボルト		2	0.2	0.2	平産金付
全質量 (kg)			37.5	35.4	

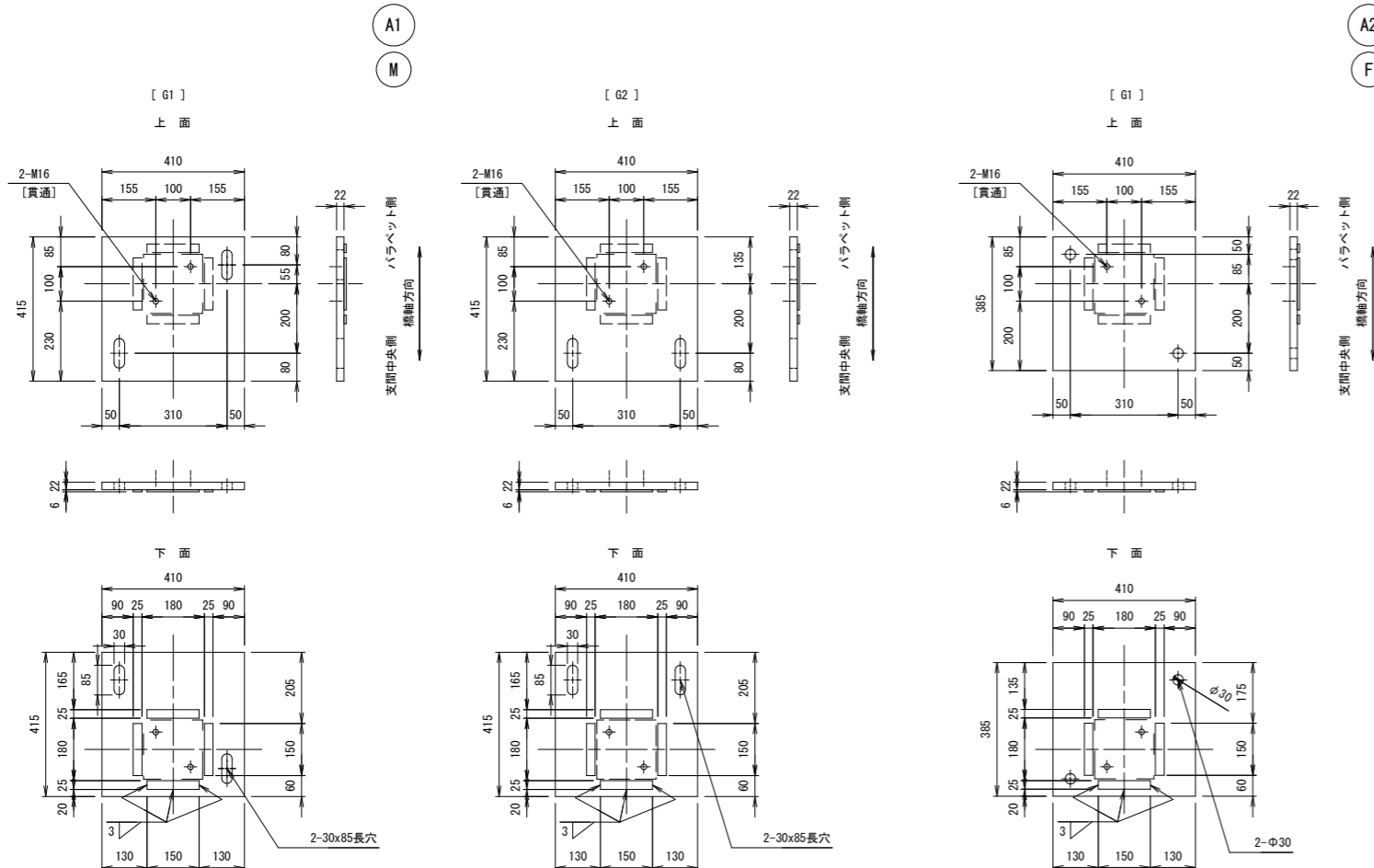
注) 1. ○印は、ST-SG仕様とする。

注) 2. 質量は参考質量とする。

注) 3. セットボルト長は現地状況確認の上、適宜変更して良い。

④ 六角ボルト M16x35 強度区分8.8
平産金付

② ソールプレート (SM490A+SS400) S=1:10
(SGめっき)

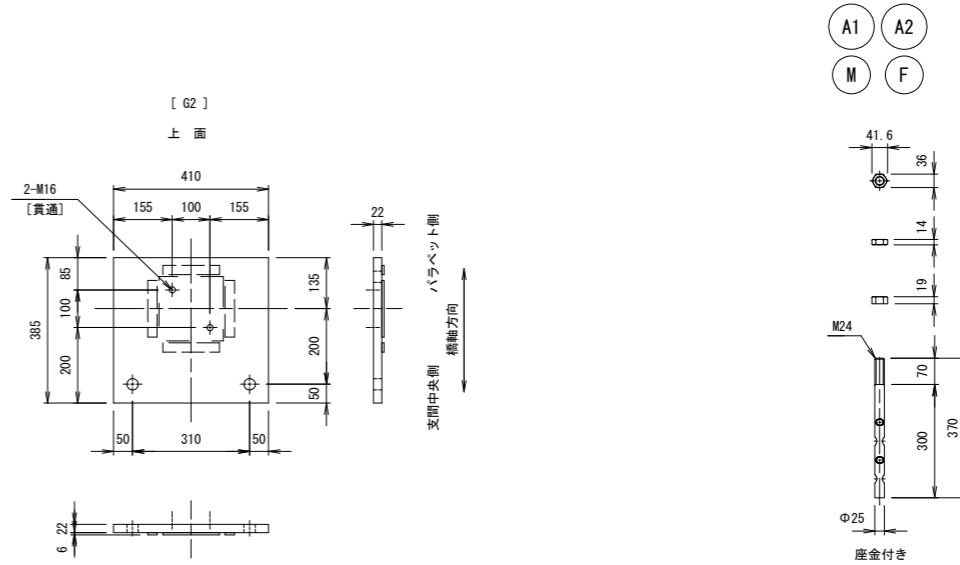


※ G3は上記形状の橋軸に対称形状となる。

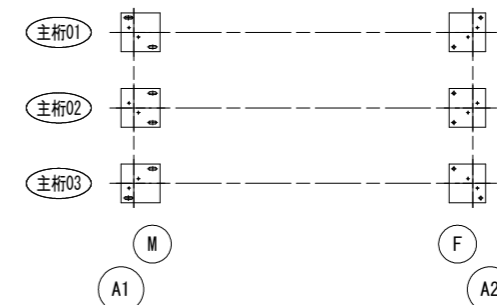
※ ずれ止めの6mm厚のプレートのみSS400とする。

※ アンカーボルト位置及びソールプレート形状は現地調査後決定のこと。

③ アンカーボルト・ナット・ワッシャー (S35CN) S=1:10
(SGめっき)



配置図



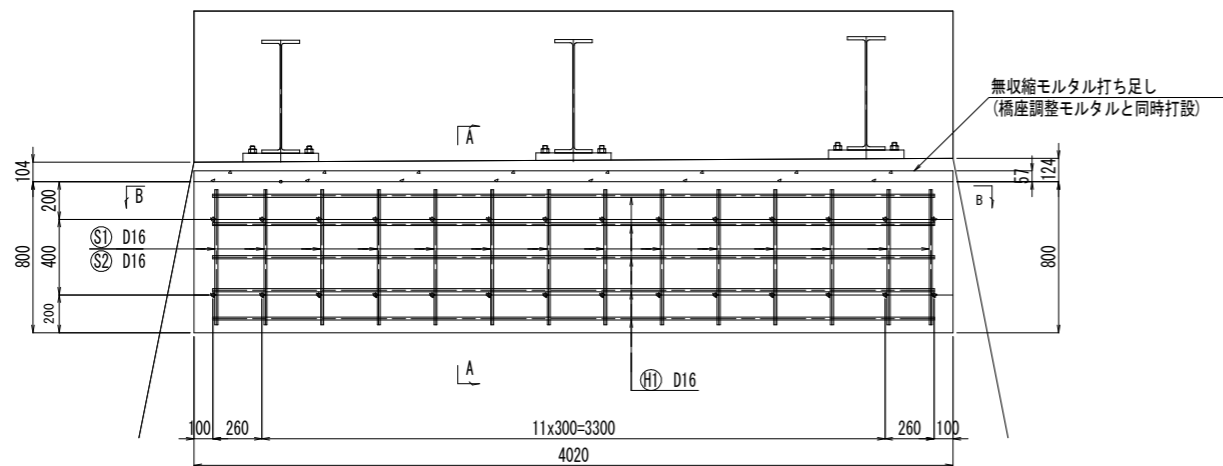
実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線 (大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内 (大越7号橋)		
図面名	支承取替計画図 (その2)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

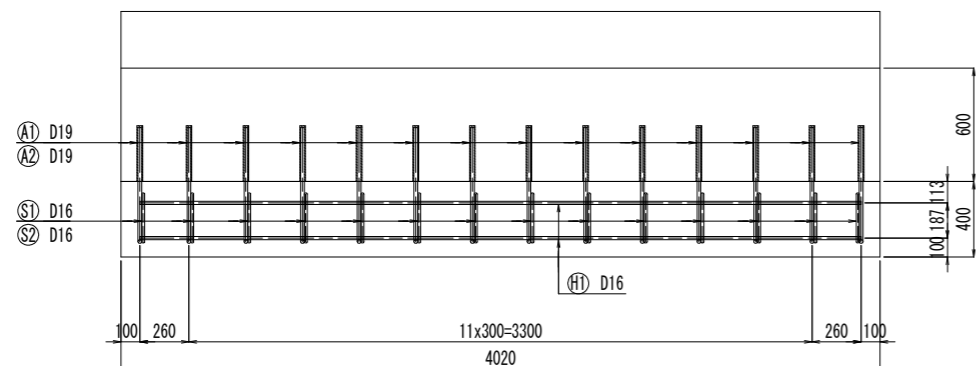
縁端拡幅詳細図 (その1)

A1橋台

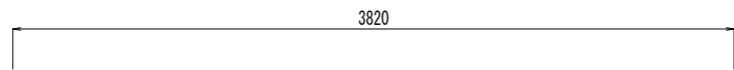
正面図 S=1:20



平面図 B-B

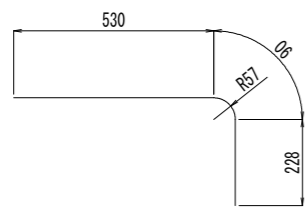


鉄筋加工図 S=1:20

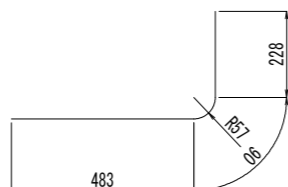


Ⓜ H1 10-D16×3820

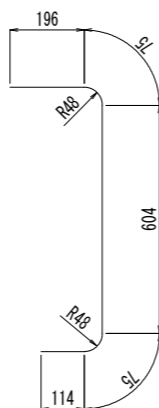
鉄筋加工図 S=1:10



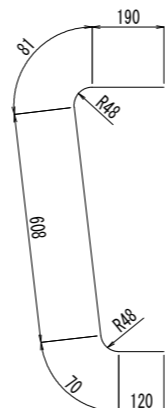
Ⓜ A1 14-D19×850



Ⓜ A2 14-D19×810

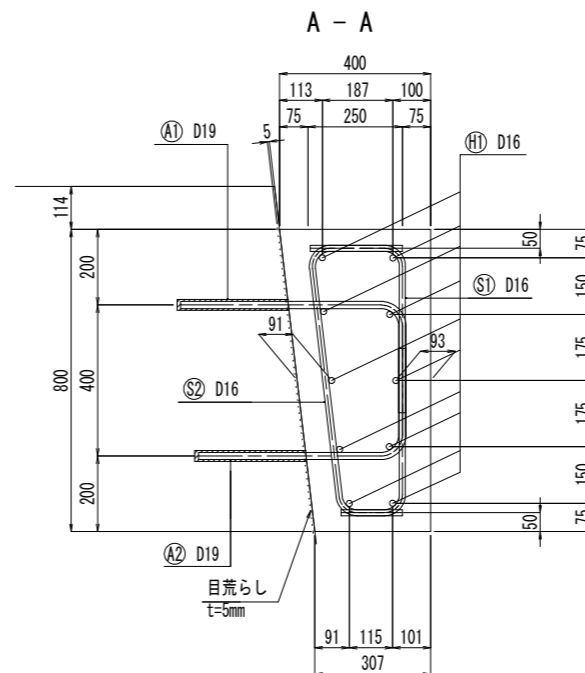


Ⓜ S1 14-D16×1070

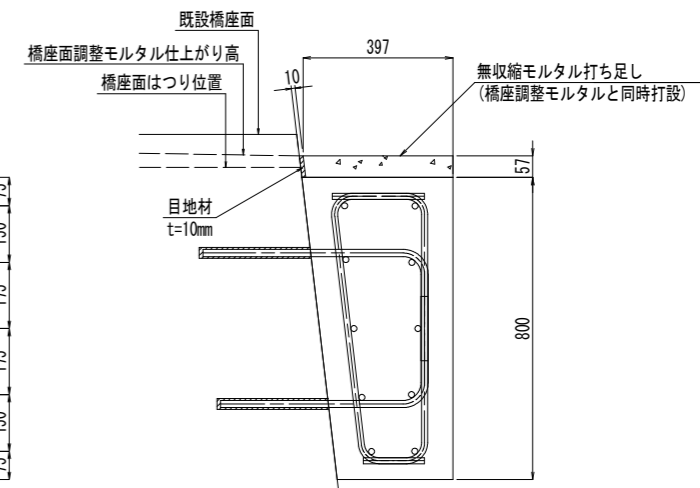


Ⓜ S2 14-D16×1070

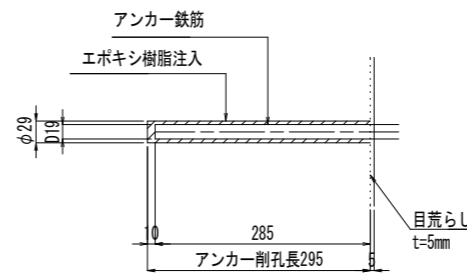
側面図 S=1:10 (ジャッキアップ時)



側面図 S=1:10 (縁端拡幅時)



アンカー定着部詳細図 S=1:5



鉄筋質量表

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	1本当り質量(kg)	質量(kg)	形状
A1	D19	850	14	2.25	1.91	27	┌
A2	D19	810	14	2.25	1.82	25	┌
S1	D16	1070	14	1.56	1.67	23	┌
S2	D16	1070	14	1.56	1.67	23	┌
H1	D16	3820	10	1.56	5.96	60	┌
						D19	52 kg
						D16	106 kg
						SD345 合計	158 kg

註) ・現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 ・アンカーボルトを削孔する際には鉄筋探査を行い、既設部の鉄筋に干渉しないように注意すること。
 ・鉄筋干渉等によりアンカーボルトを移設する場合は縁端拡幅の設計照査を行うこと。

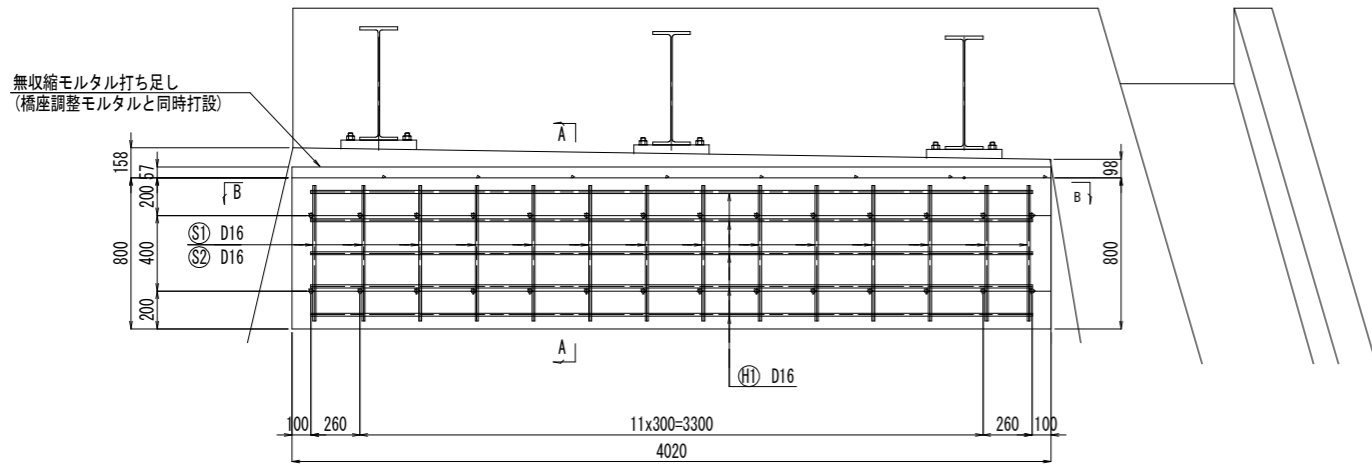
実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線 (大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内 (大越7号橋)		
図面名	縁端拡幅詳細図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

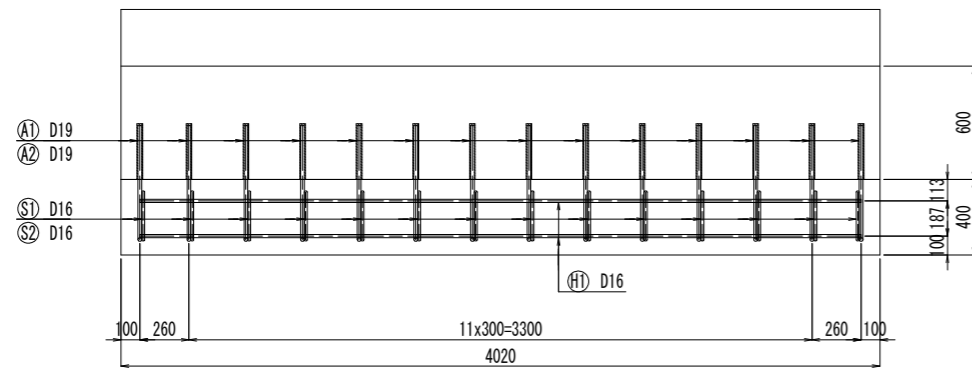
縁端拡幅詳細図 (その2)

A2橋台

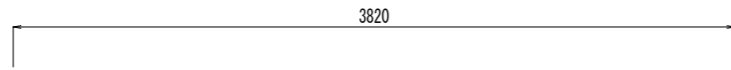
正面図 S=1:20



平面図 S=1:20
B - B

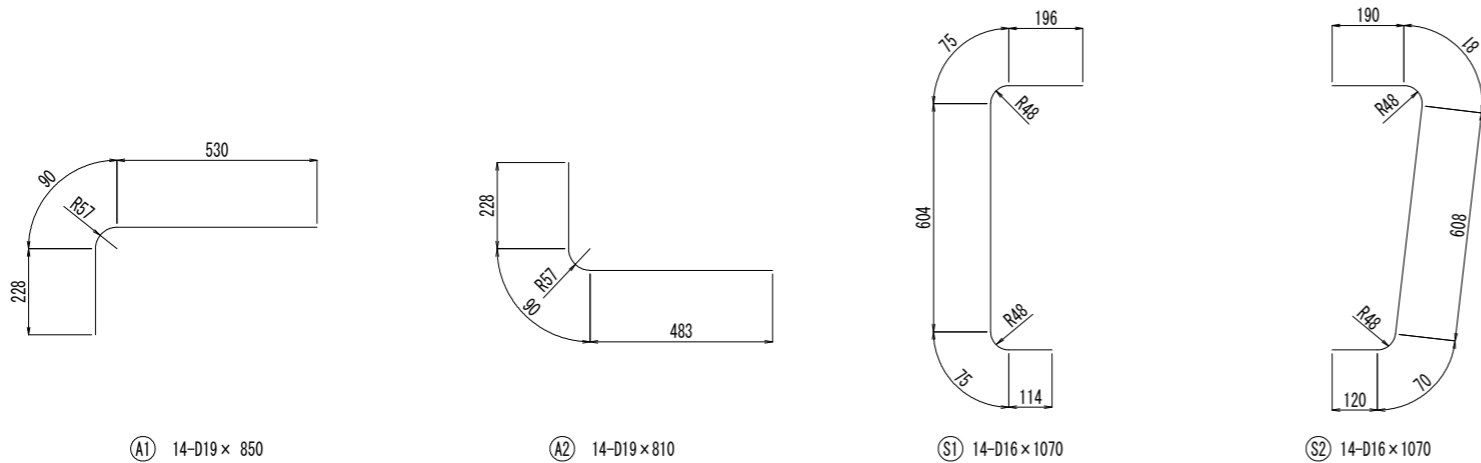


鉄筋加工図 S=1:20



Ⓜ H1 10-D16×3820

鉄筋加工図 S=1:10



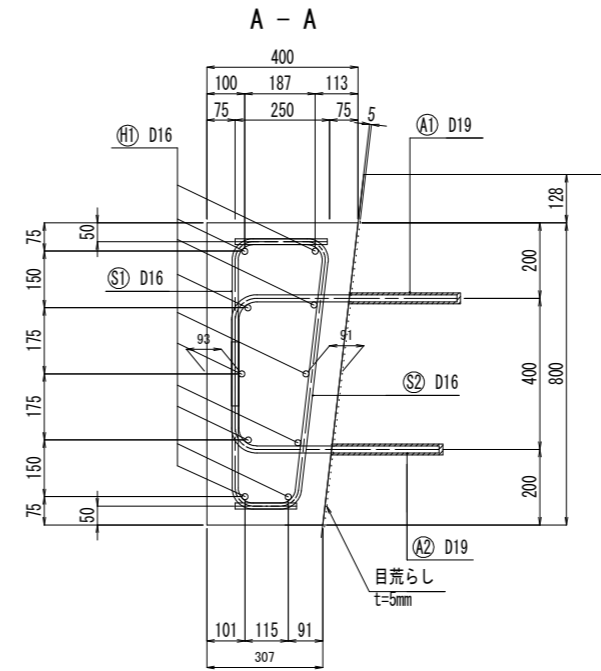
Ⓜ A1 14-D19×850

Ⓜ A2 14-D19×810

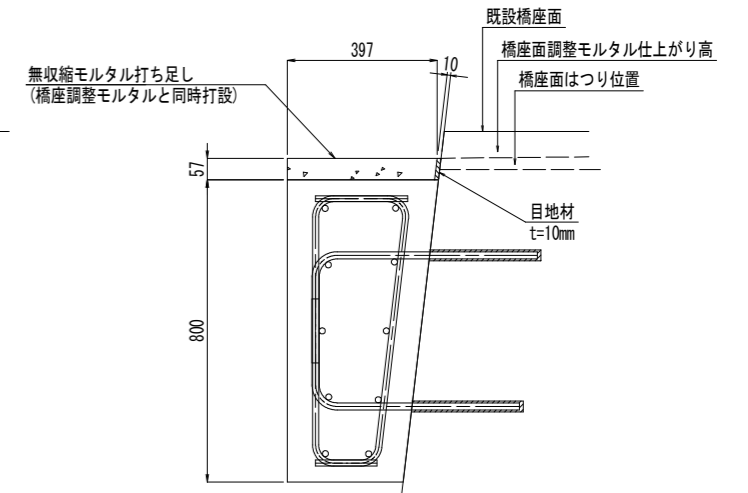
Ⓜ S1 14-D16×1070

Ⓜ S2 14-D16×1070

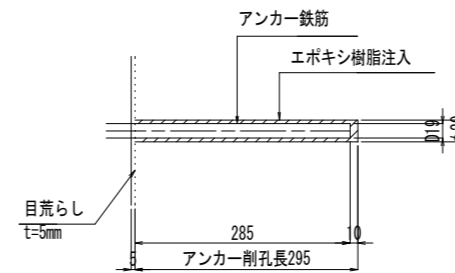
側面図 S=1:10
(ジャッキアップ時)



側面図 S=1:10
(縁端拡幅時)



アンカー定着部詳細図 S=1:5



鉄筋質量表

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	1本当り質量(kg)	質量(kg)	形状
A1	D19	850	14	2.25	1.91	27	┌
A2	D19	810	14	2.25	1.82	25	└
S1	D16	1070	14	1.56	1.67	23	┌
S2	D16	1070	14	1.56	1.67	23	└
H1	D16	3820	10	1.56	5.96	60	—
						D19	52 kg
						D16	106 kg
						SD345 合計	158 kg

註) ・現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
・アンカーボルトを削孔する際には鉄筋探査を行い、既設部の鉄筋に干渉しないように注意すること。
・鉄筋干渉等によりアンカーボルトを移設する場合は縁端拡幅の設計照査を行うこと。

実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線 (大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内 (大越7号橋)		
図面名	縁端拡幅詳細図 (その2)		
縮尺	図示	図面番号	10 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

補修工法一覧表

補修工法	記号：単位	通し番号 【記号No.】
ひび割れ注入工 (土木補修用エポキシ樹脂系)	HI 1: 1.70 m	Ca
断面修復工：鉄筋露出無し	DA 1: 0.76 m ²	Da

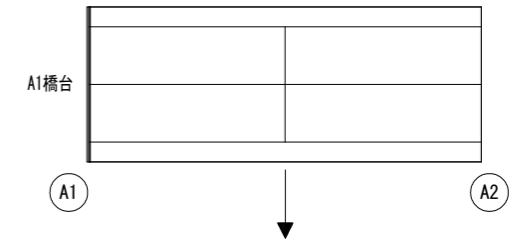
・【 】は計画箇所補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)

下部工補修計画図(その1)

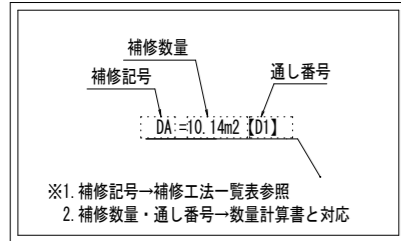
S=1:50

A1橋台

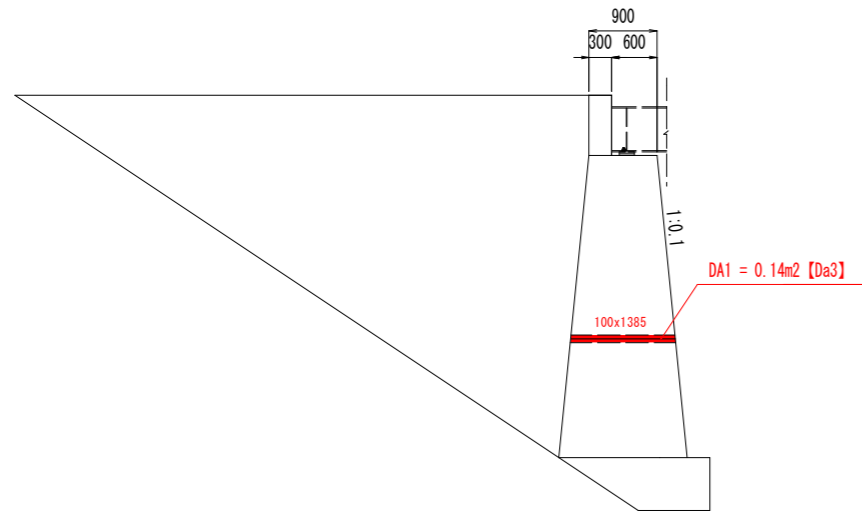
配置図



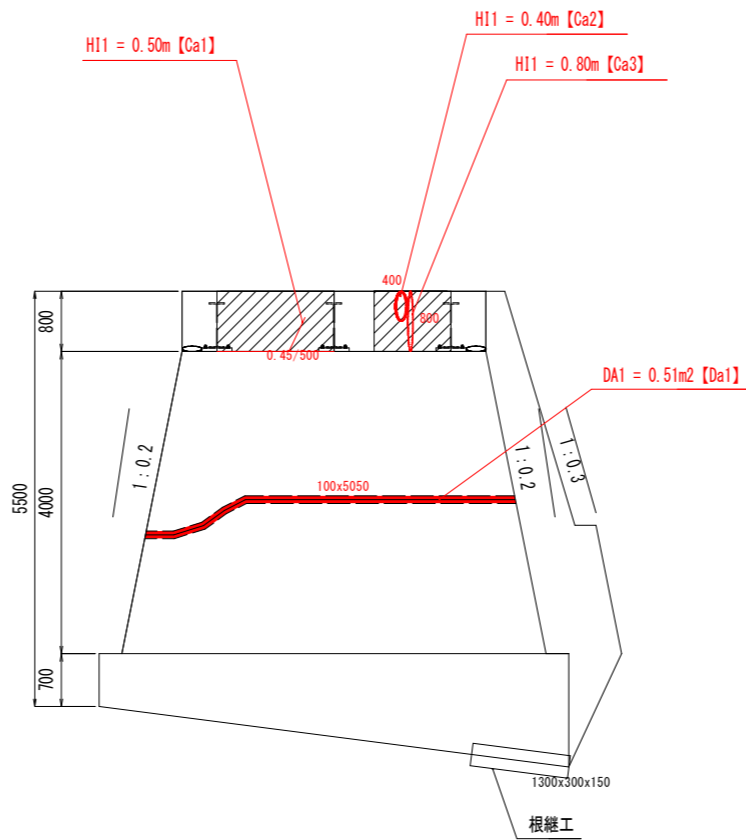
損傷凡例	
ひびわれ	0.2mm未満
	0.2~0.5mm未満
	0.5~1.0mm未満
	1.0mm以上
腐食(角)	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・帯水	
うき	
剥離	
変形・欠損	
腐食	
その他	



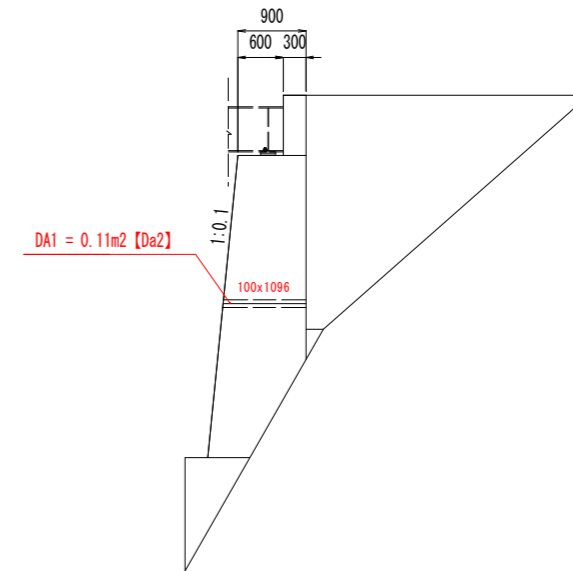
側面図
(下流側)



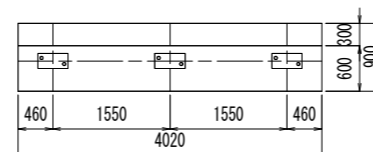
正面図



側面図
(上流側)



平面図



註)・遊離石灰析出箇所のひび割れ幅は0.2mmと仮定する。

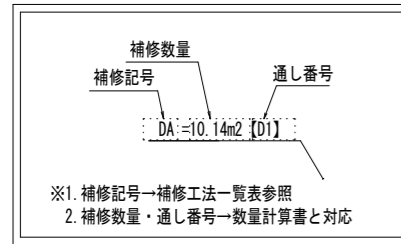
実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線(大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内(大越7号橋)		
図面名	下部工補修計画図(その1)		
縮尺	S=1:50	図面番号	11 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

補修工法一覧表

補修工法	記号：単位	通し番号 【記号No.】
断面修復工：鉄筋露出無し	DA 1： 0.80 m ²	Da

・【 】は計画箇所補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)

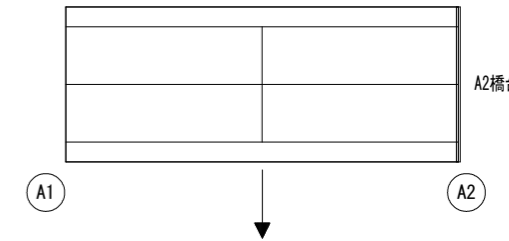


下部工補修計画図(その2)

S=1:50

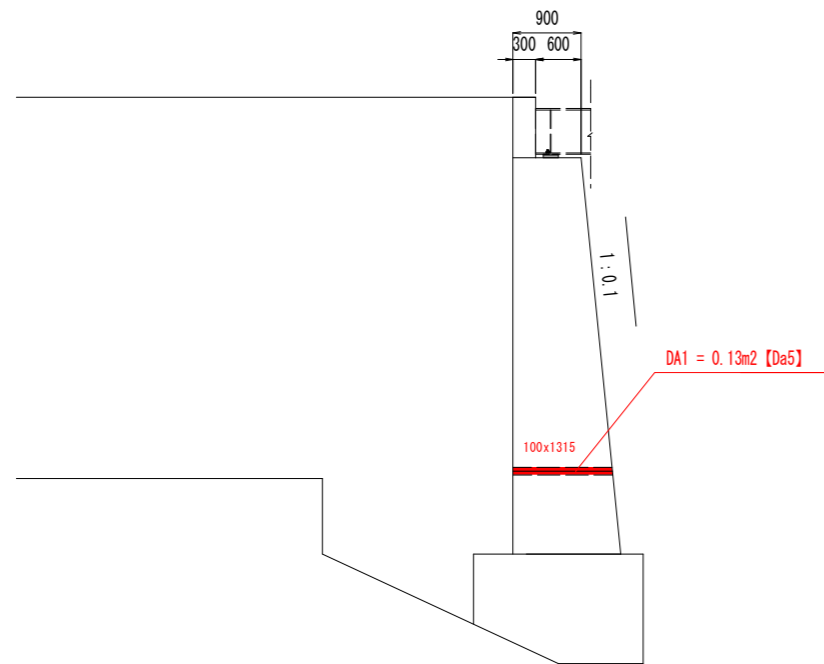
A2橋台

配置図

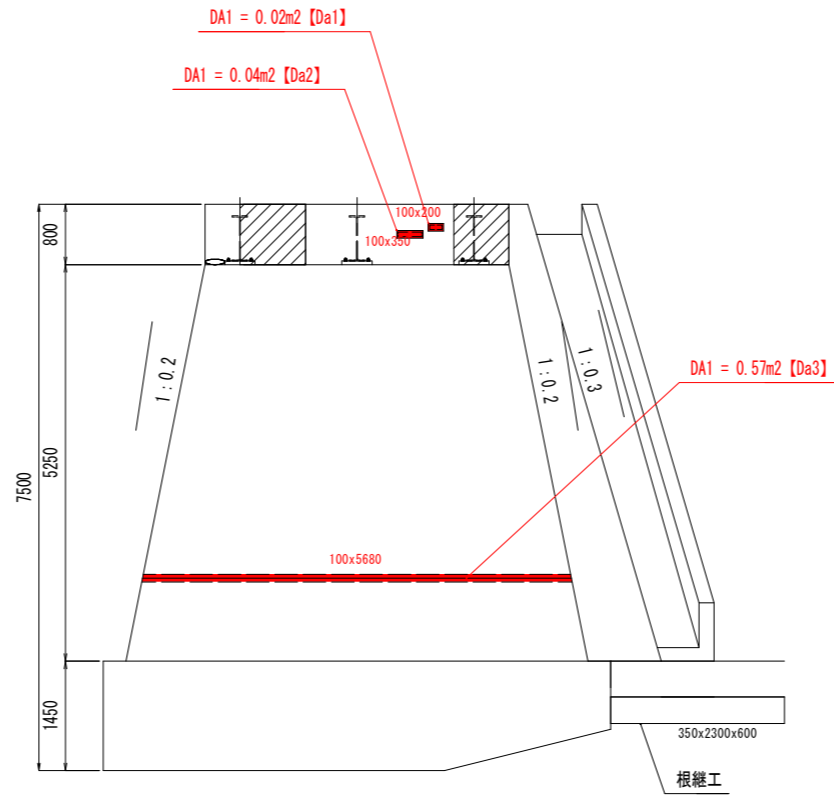


損傷凡例	
ひびわれ	0.2mm未満
	0.2~0.5mm未満
	0.5~1.0mm未満
	1.0mm以上
腐食(角)	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・帯水	
うき	
剥離	
変形・欠損	
腐食	
その他	

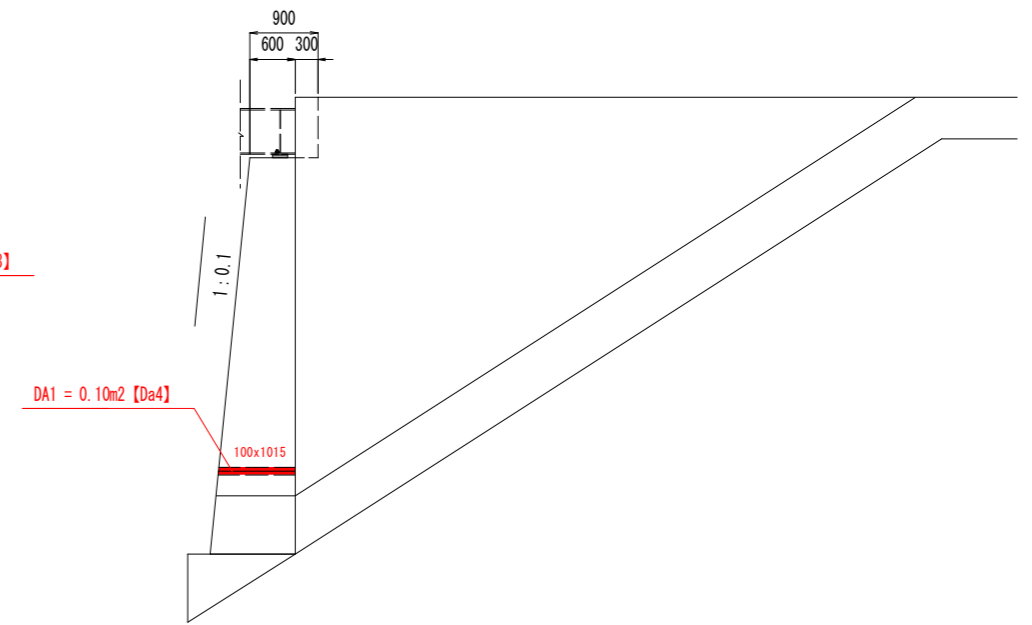
側面図
(上流側)



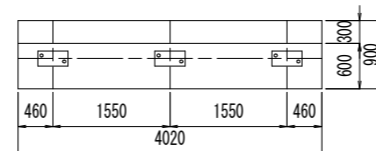
正面図



側面図
(下流側)



平面図



註)・遊離石灰析出箇所ひび割れ幅は0.2mmと仮定する。

実施設計図面

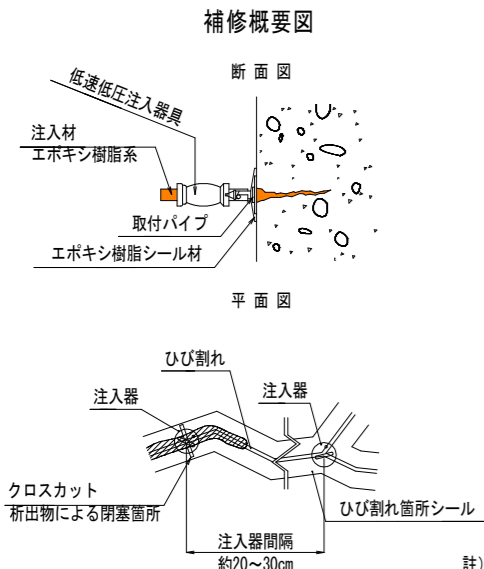
工事名	R4波土 日和佐上那賀線(大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内(大越7号橋)		
図面名	下部工補修計画図(その2)		
縮尺	S=1:50	図面番号	12 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

補修工法要領図

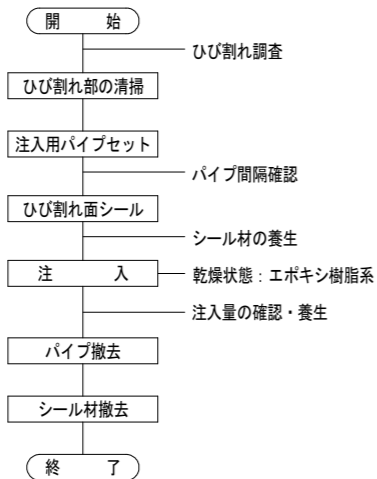
ひび割れ補修工(注入工法) : HI

ひび割れ補修工(注入工法)…… 0.2~1.0mm未満のひび割れにエポキシ樹脂系の材料を注入して、防水性、耐久性を向上させ、劣化因子の進入を防ぐ工法である。

注入材：土木補修用エポキシ樹脂注入材



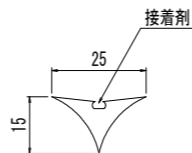
施工フロー



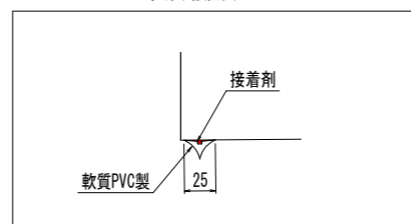
註) ひび割れ表面に析出物のある場合 表面の析出物を除去し、ひび割れに直交する切り込み(クロスカット: 深さ1~2mm程度)を入れ、この空隙に注入器を設置すること。

水切り工

水切り詳細図 S=1:1
軟質PVC製

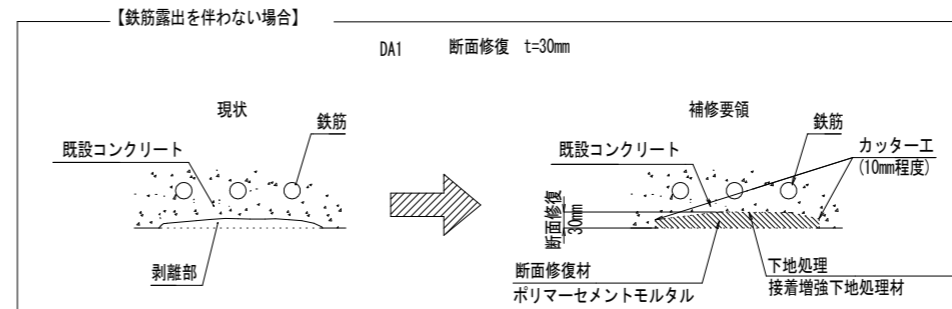


水切り設置図 S=1:3

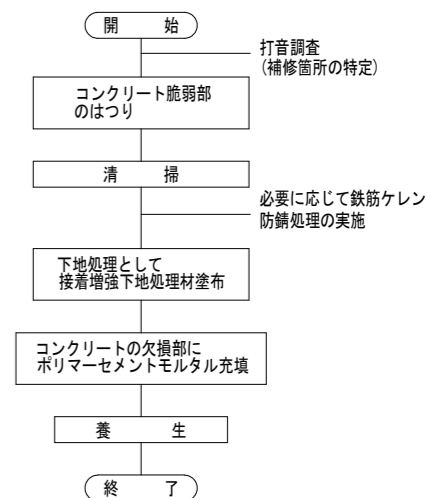


断面修復工(左官仕上げ工法) : DA1

断面修復工……既設コンクリートのうき、剥離、鉄筋露出箇所等に対し、劣化コンクリート部を除去した後に、ポリマーセメントモルタルを用いて断面を修復する工法。

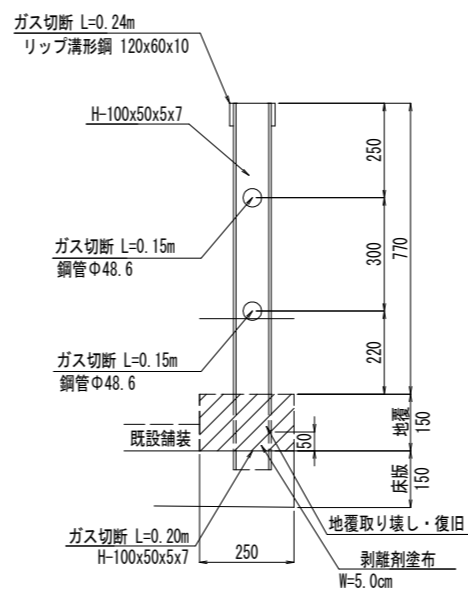


施工フロー

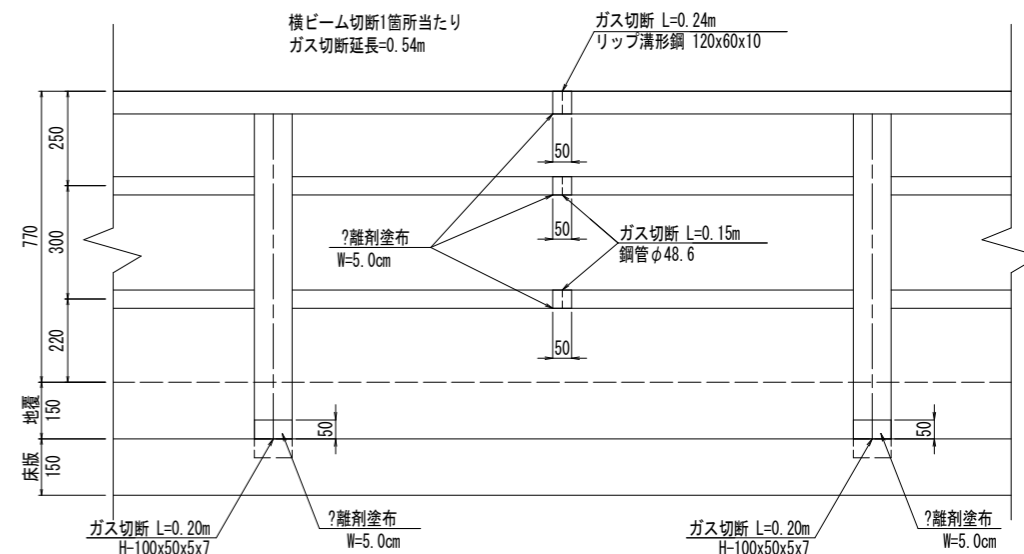


防護柵および地覆取り壊し・復旧要領

側面図 S=1:10

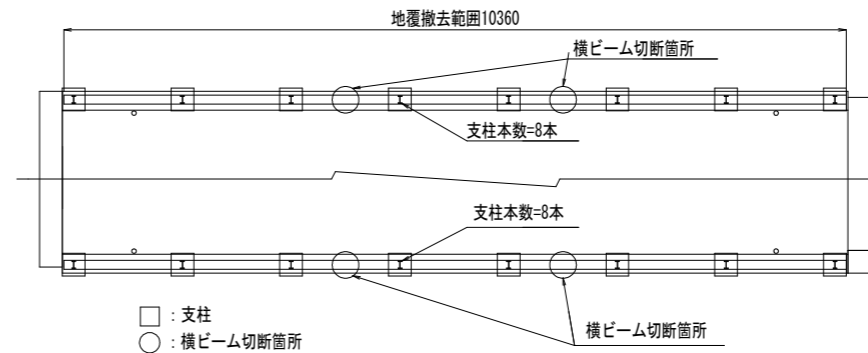


正面図 S=1:10



註) ・地覆取り壊し時には既設鉄筋を切断しないよう注意すること。

側面図 S=1:50



ガス切断延長数量	
横ビーム	2.18m
支柱	3.20m

実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線(大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事
路線名等	(主) 日和佐上那賀線
工事箇所	海部郡美波町山河内(大越7号橋)
図面名	補修工法要領図
縮尺	図示 図面番号 13 / 14
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

塗装工(Rc-I 塗装系、湿式塗膜剥離剤工法)

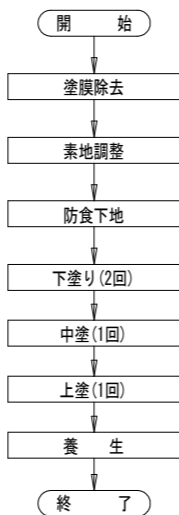
塗装工(Rc-I 塗装系、湿式塗膜剥離剤工法)……塗膜剥離剤による塗膜除去後、1種ケレンにより素地を形成させた後、重防食塗装を行う。

塗装工(Rc-I 塗装系、湿式塗膜剥離剤工法)

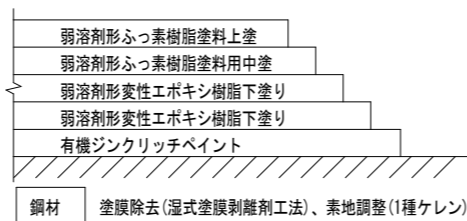
塗装工程	塗料名	使用量	塗装間隔
塗膜除去	湿式塗膜剥離剤工法 水系塗膜はく離剤<中性>	1000g/m ² (想定)	
素地調整	1種ケレン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600g/m ²	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗り	240g/m ²	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗り	240g/m ²	1日~10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料用中塗(濃彩色)	170g/m ²	1日~10日
上塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料用上塗(濃彩色)	120g/m ²	1日~10日

注) ・塗膜試験により、塗膜剥離剤使用量及び施工回数を決定すること。

施工フロー

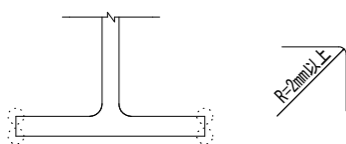


補修概要図



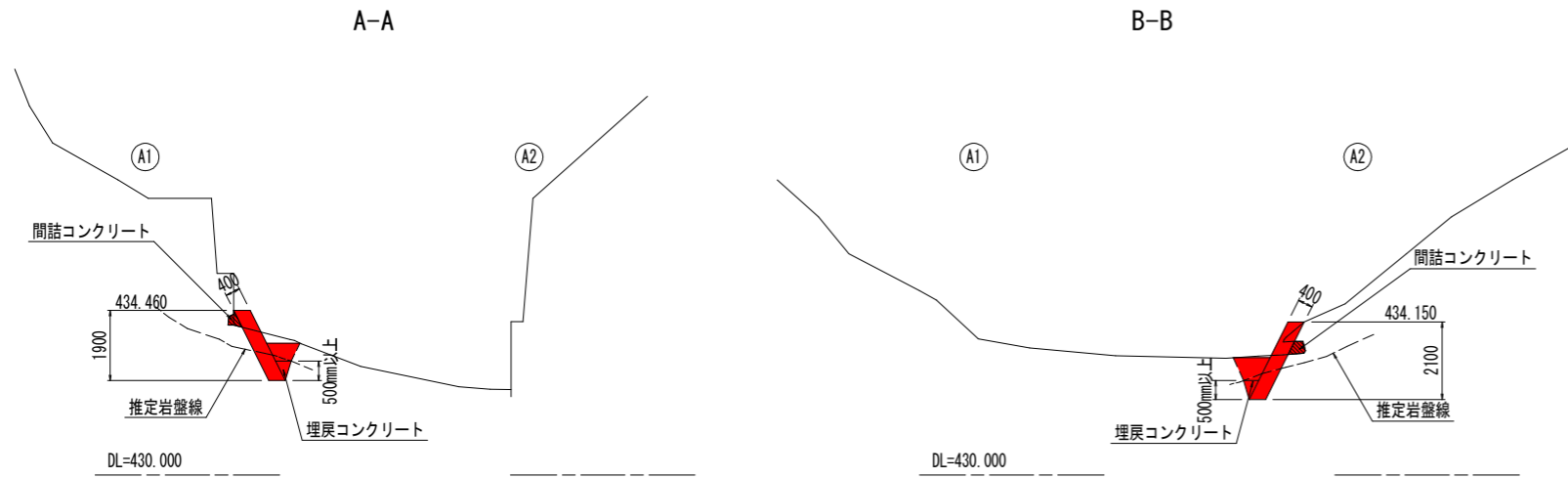
鋼部材の面取り……塗装の寿命を高めるために、主桁下フランジ角部で面取りを行う。

面取り概要図

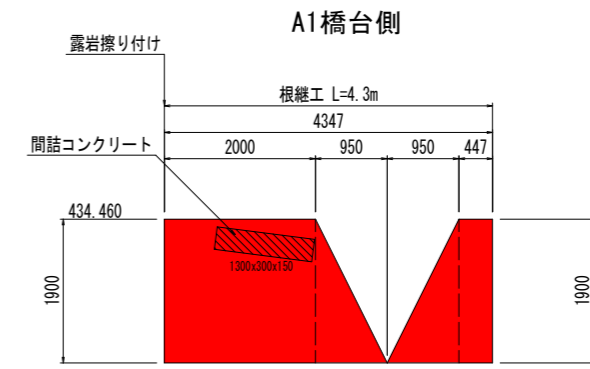


根継工詳細図

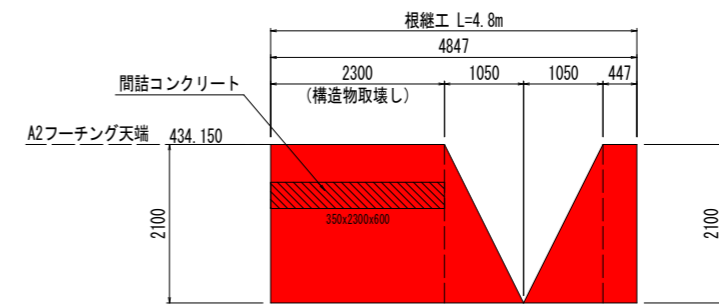
側面図 S=1:100



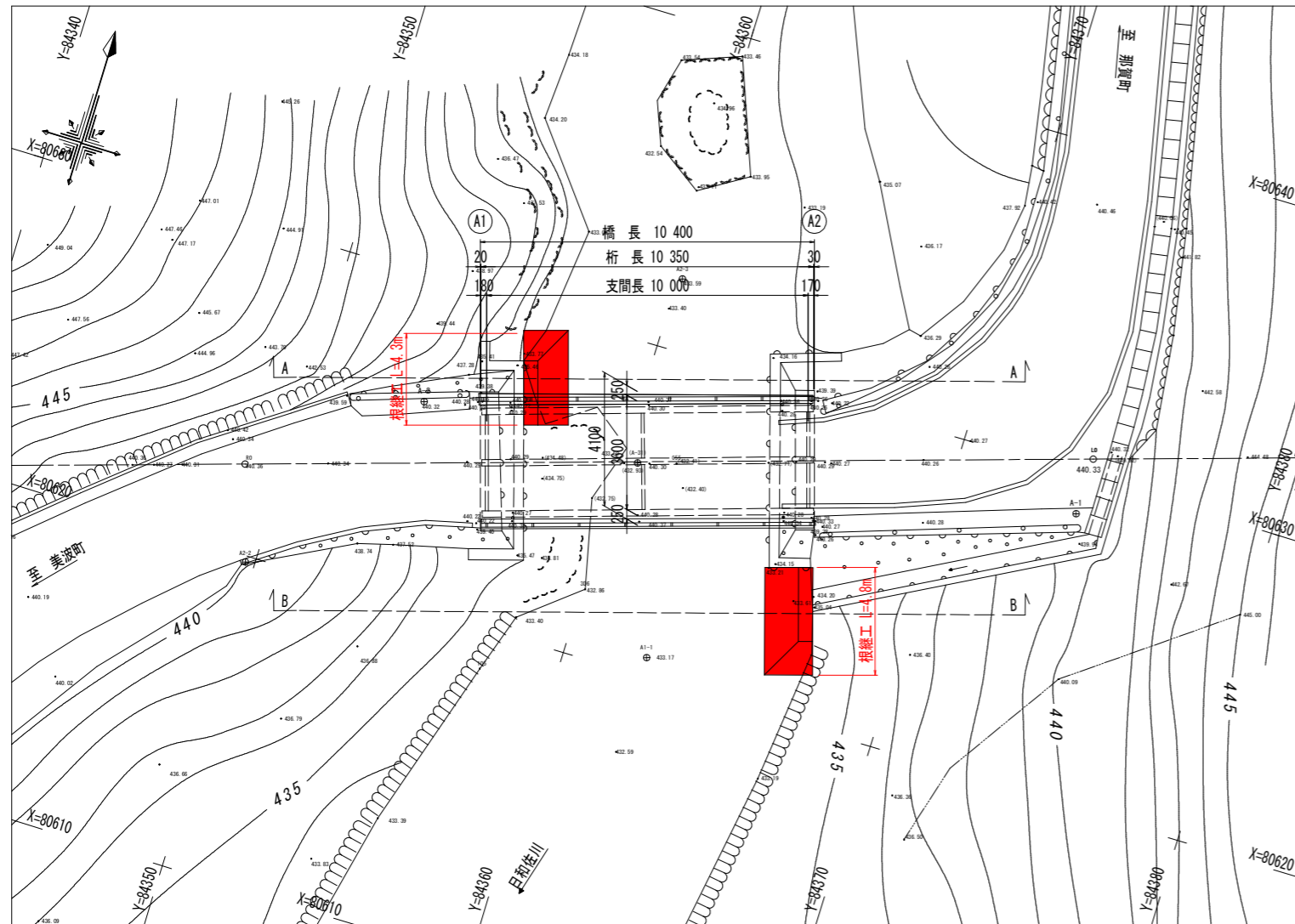
展開図 S=1:50



A2橋台側

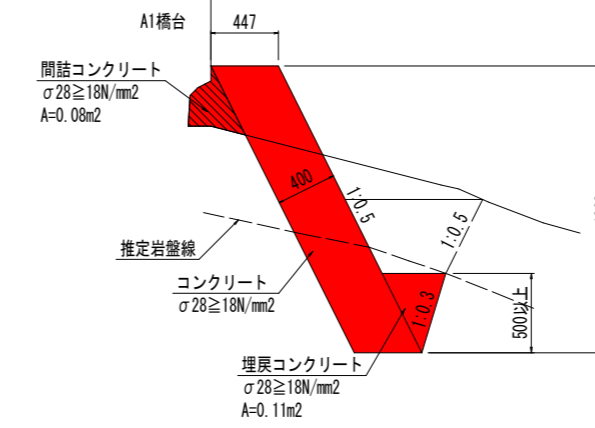


平面図 S=1:100

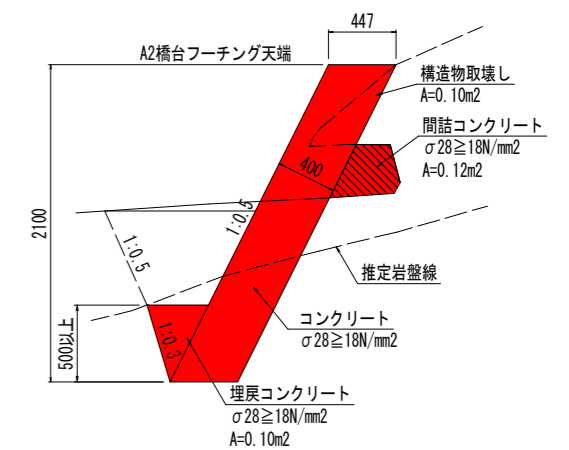


構造図 S=1:25

A1橋台側



A2橋台側



数量表 1.0m当たり

項目	数量
コンクリート	0.849 m3
型枠	2.124 m2
間詰コンクリート	0.080 m3
埋戻コンクリート	0.110 m3

土工数量表 1.0m当たり

項目	数量
床堀 (B) 土砂、現場制約あり	0.4
床堀 (B) 軟岩、現場制約あり	0.1
埋戻 現場制約あり	0.3

数量表 1.0m当たり

項目	数量
コンクリート	0.939 m3
型枠	2.348 m2
間詰コンクリート	0.120 m3
埋戻コンクリート	0.100 m3
構造物取壊し	0.100 m3

土工数量表 1.0m当たり

項目	数量
床堀 (B) 土砂、現場制約あり	0.4
床堀 (B) 軟岩、現場制約あり	0.1
埋戻 現場制約あり	0.4

基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	Z座標
N07038	80684.360	84381.960	443.018
A-1	80628.809	84374.009	440.293
A-2	80626.213	84353.571	440.321
A-3	80600.265	84333.758	439.803
A1-1	80630.612	84362.539	433.111
L0	80630.588	84374.057	440.333
R0	80622.721	84348.808	440.360

注) ・根継工の構造高さは床掘状況に応じて変更すること。
 ・根継工の根入れは500mm以上確保すること。
 ・A2側の根継工天端は橋台フーチング天端高にあわせること。
 ・間詰コンクリートは本体と同時打設とする。

実施設計図面

工事名	R4波土 日和佐上那賀線 (大越7号橋) 美波・山河内 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 日和佐上那賀線		
工事箇所	海部郡美波町山河内 (大越7号橋)		
図面名	根継工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	14 / 14
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		